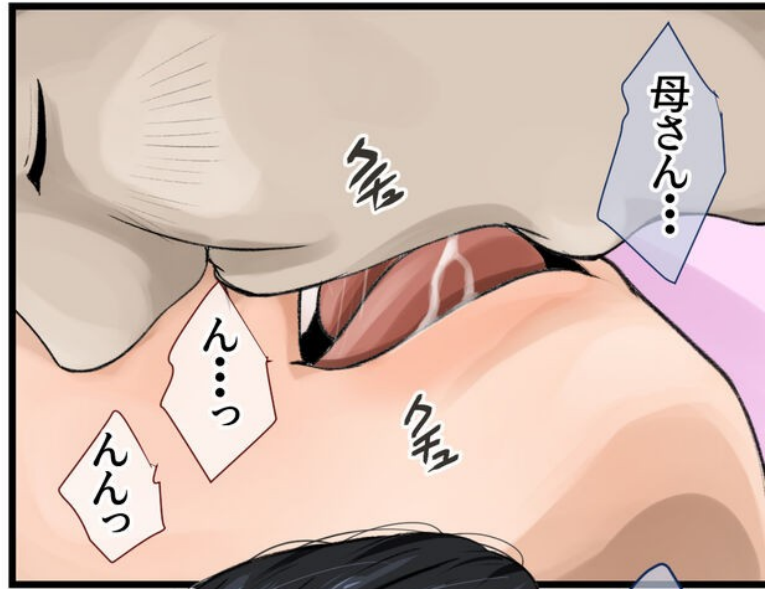
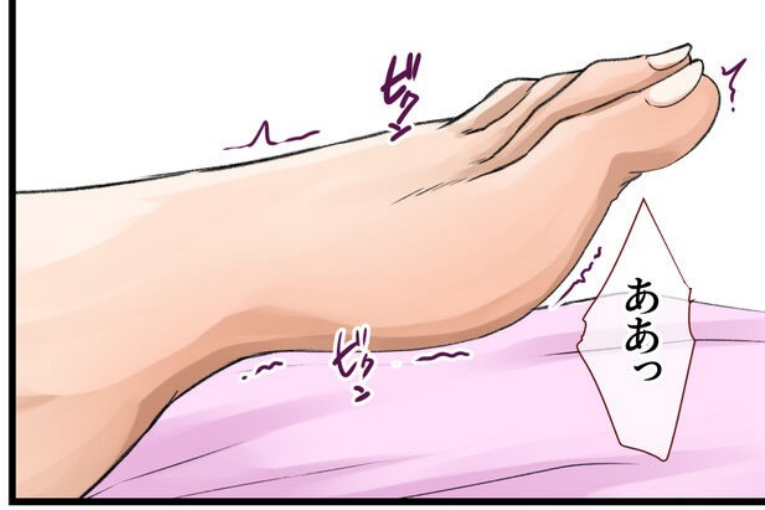
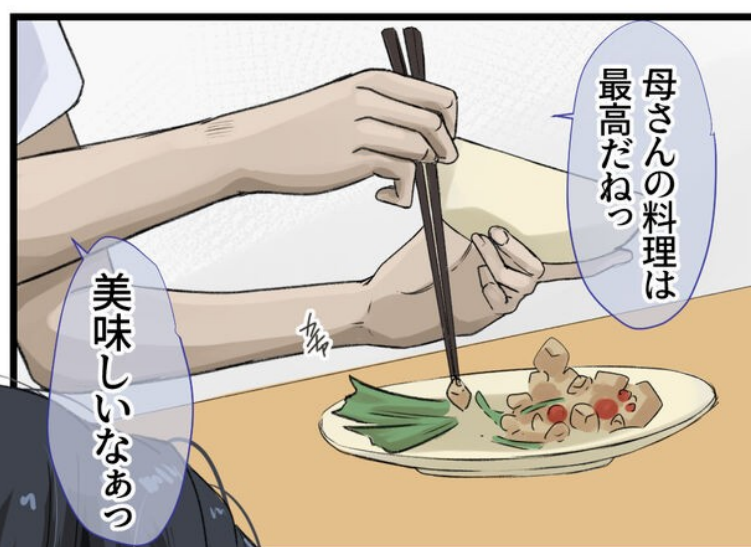
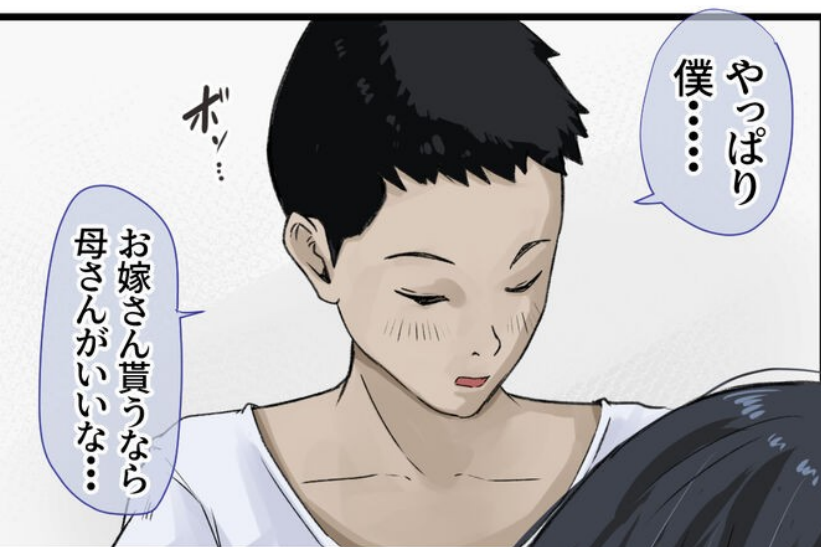






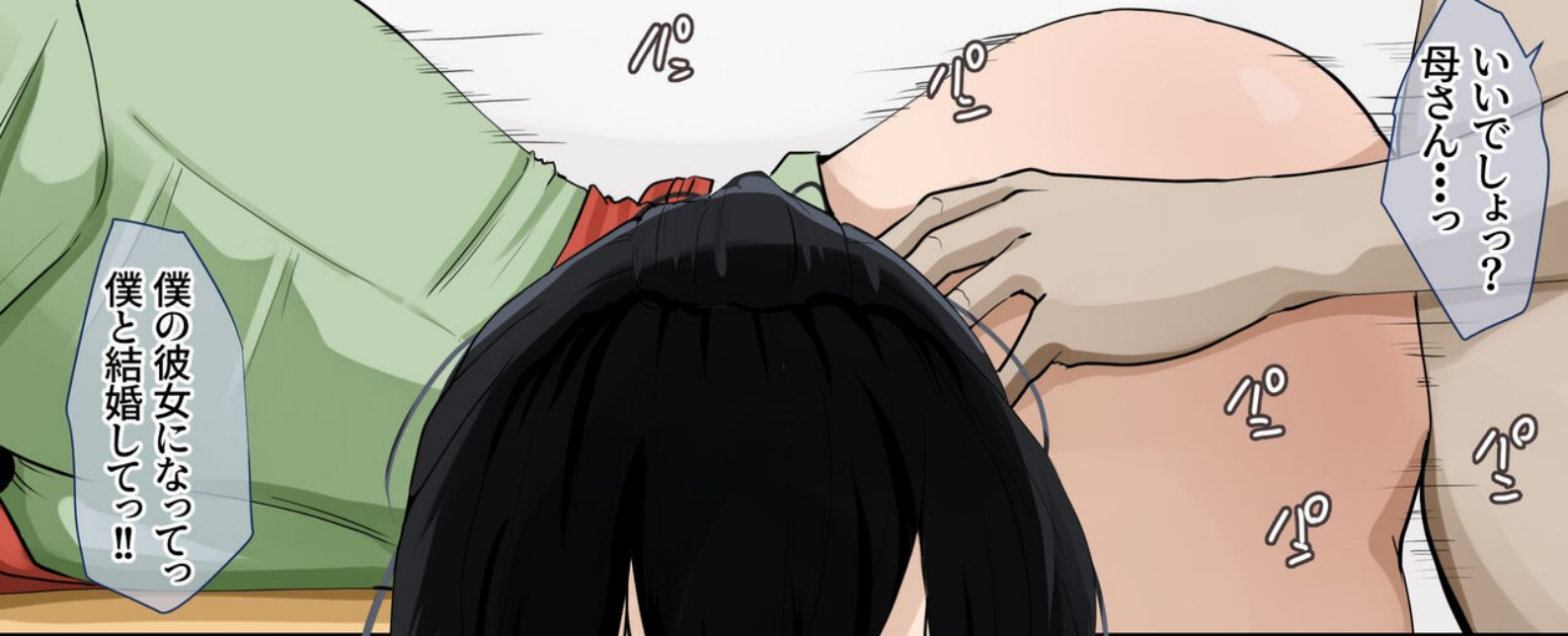


母さんと
付き合ってます。









いいでしょう？
母さん……っ

僕の彼女になってっ
僕と結婚してっ!!



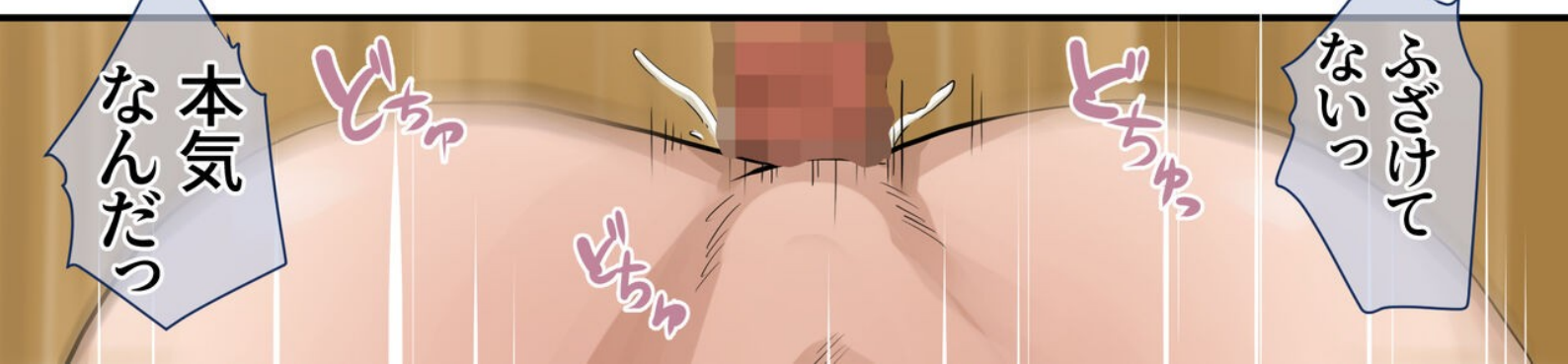
んんっ

なに……

バカな
こと……っ

ああッ

あっ



ふざけて
ないっ

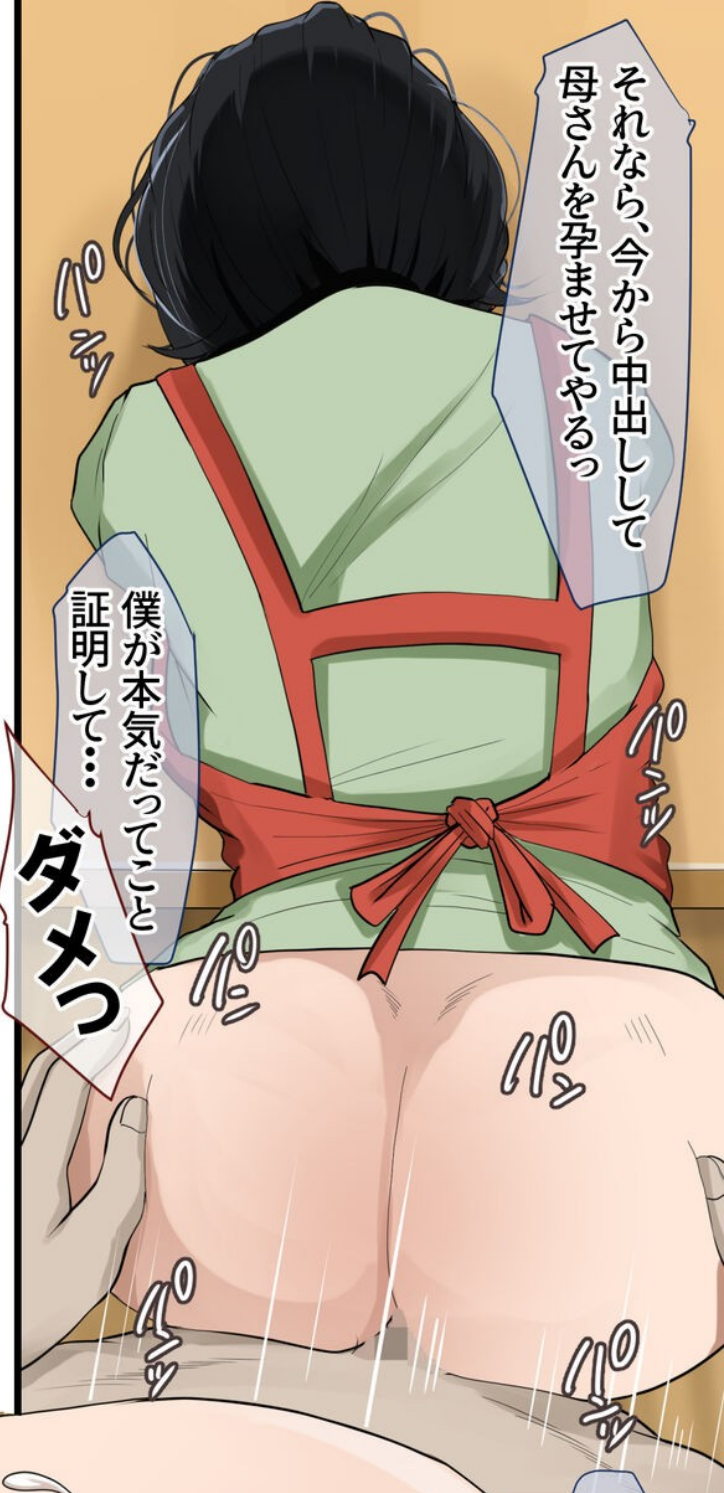
本気
なんだっ



わかった…っ

わかった
から…っ

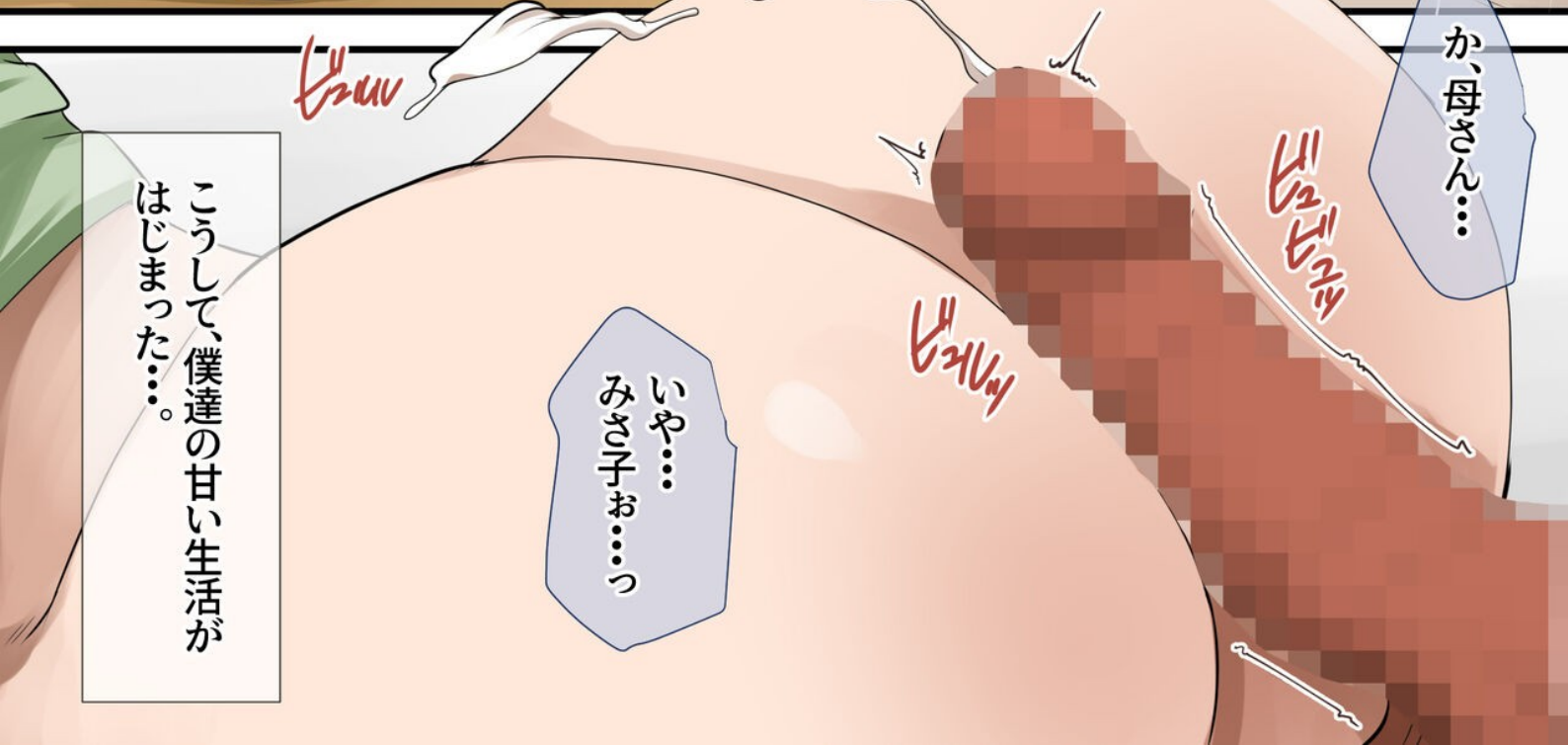
膣内は
絶対だめっ



それなら、今から中出しして
母さんを孕ませてやるっ

僕が本気だったってこと
証明して…

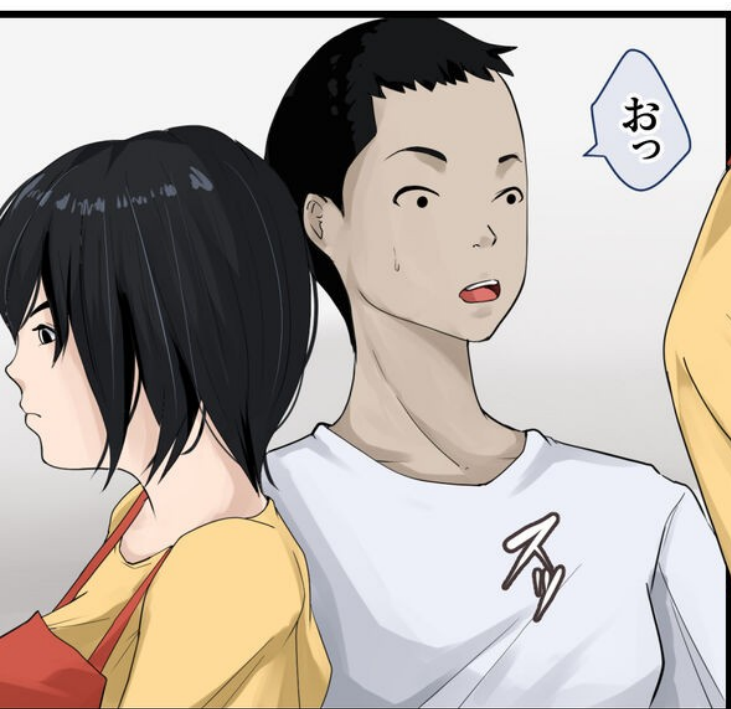
ダメっ



か、母さん…

いや…
みゃ子お…っ

こうして、僕達の甘い生活が
はじまった…。





こらっ
母親を名前で呼ばないっ

カッ
大体、昨日あんな事しておいて
よく普通に話せるわねっ



わっ
どういうつもりっ
あんたのした事は
絶対許されない事なのっ

ガミ
母親をなんだと
思ってるの？

ガミ
もうあんたと
どう接すればいいか
分からないわっ

ガミ
お母さん情けな...



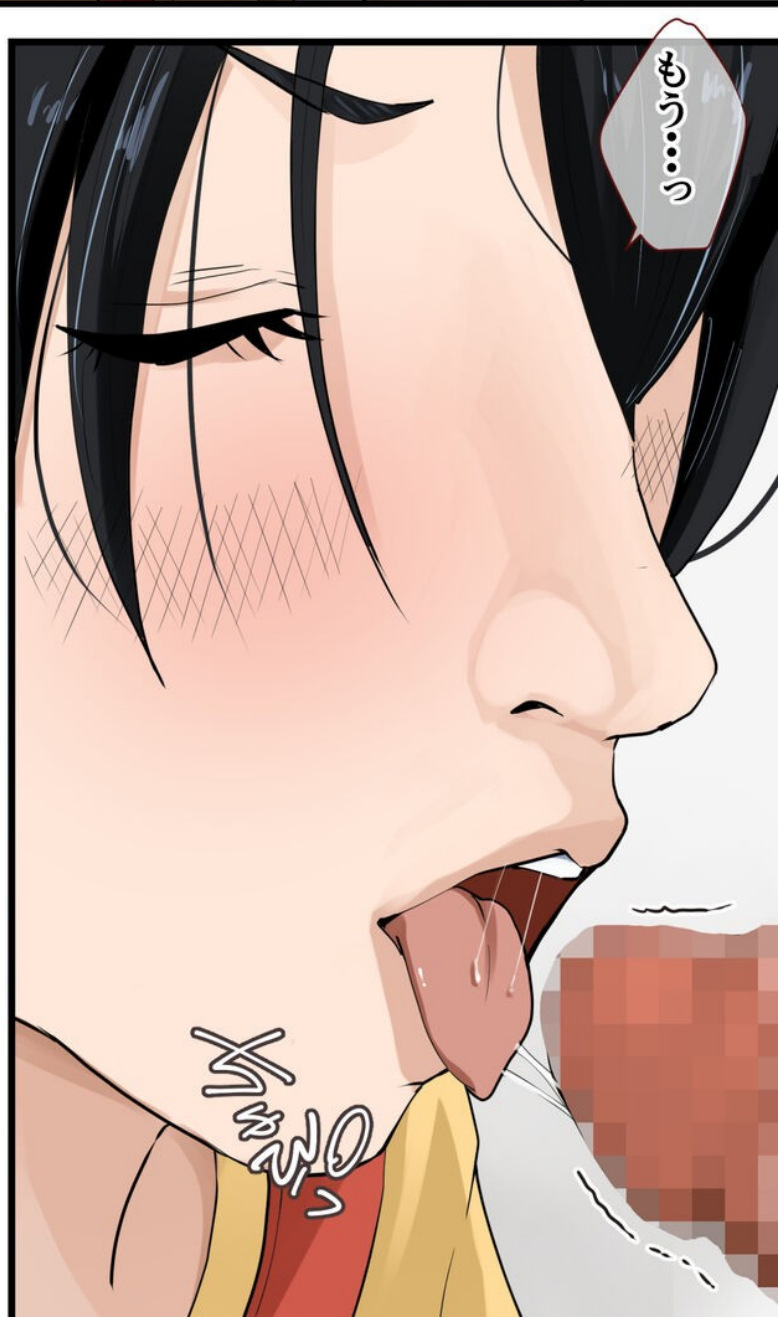
え
母さん...

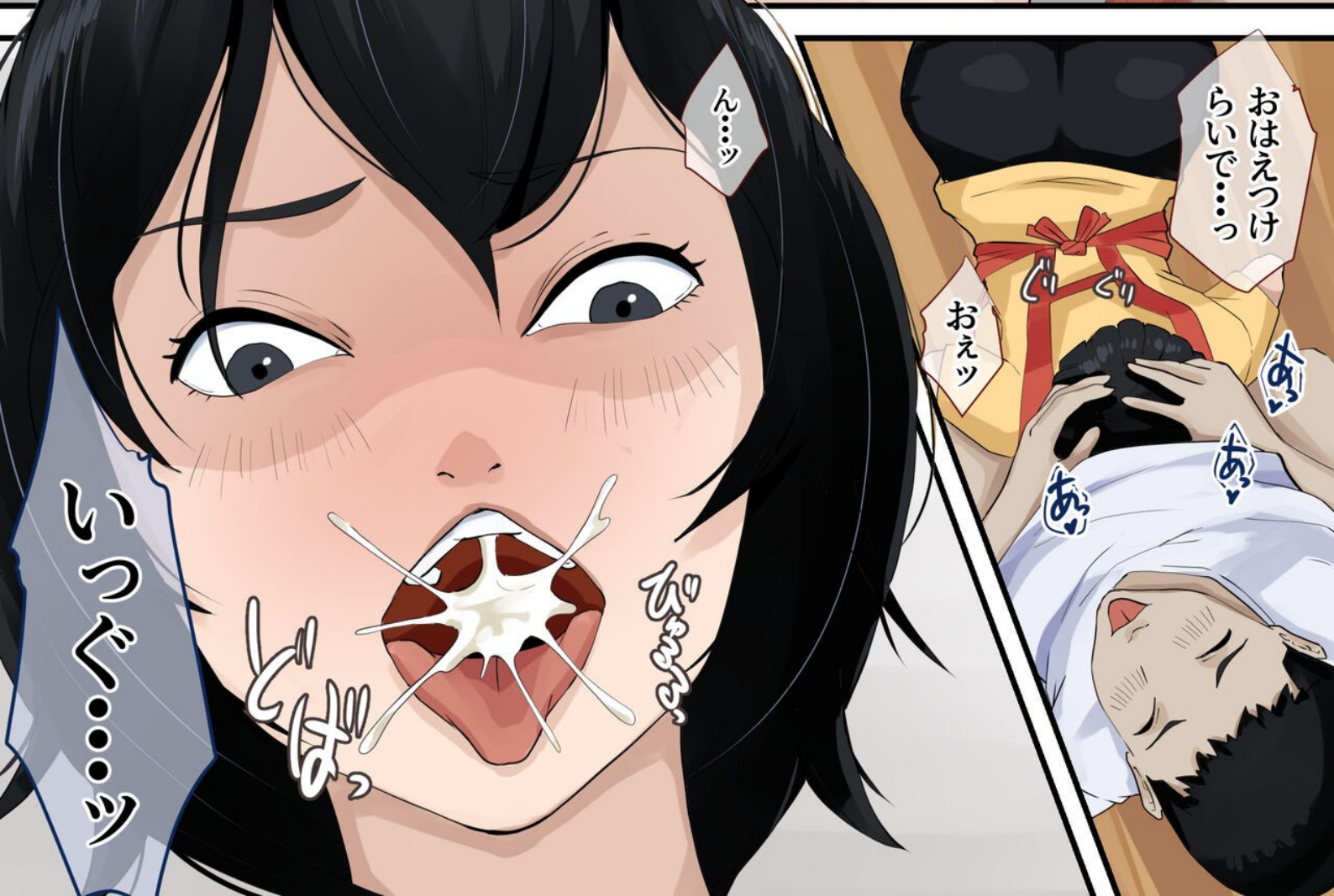
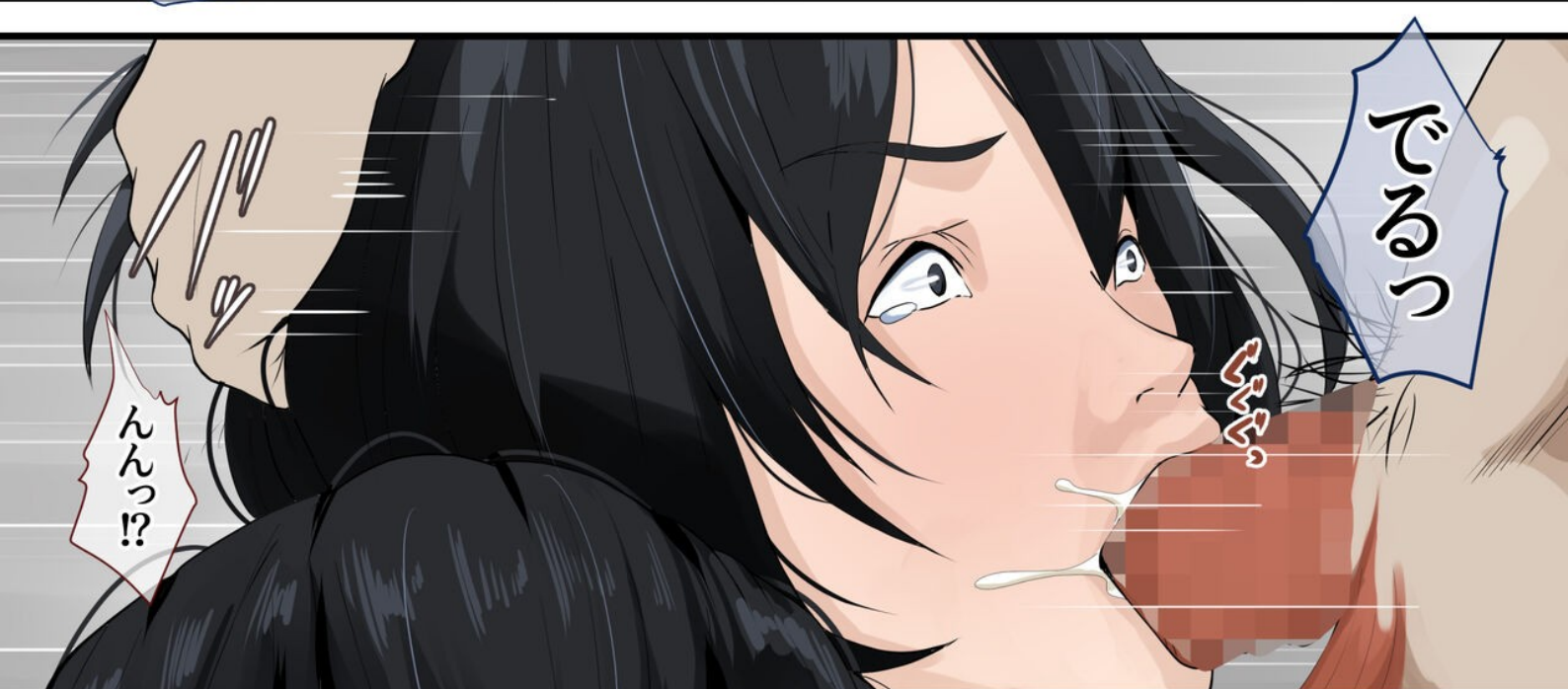
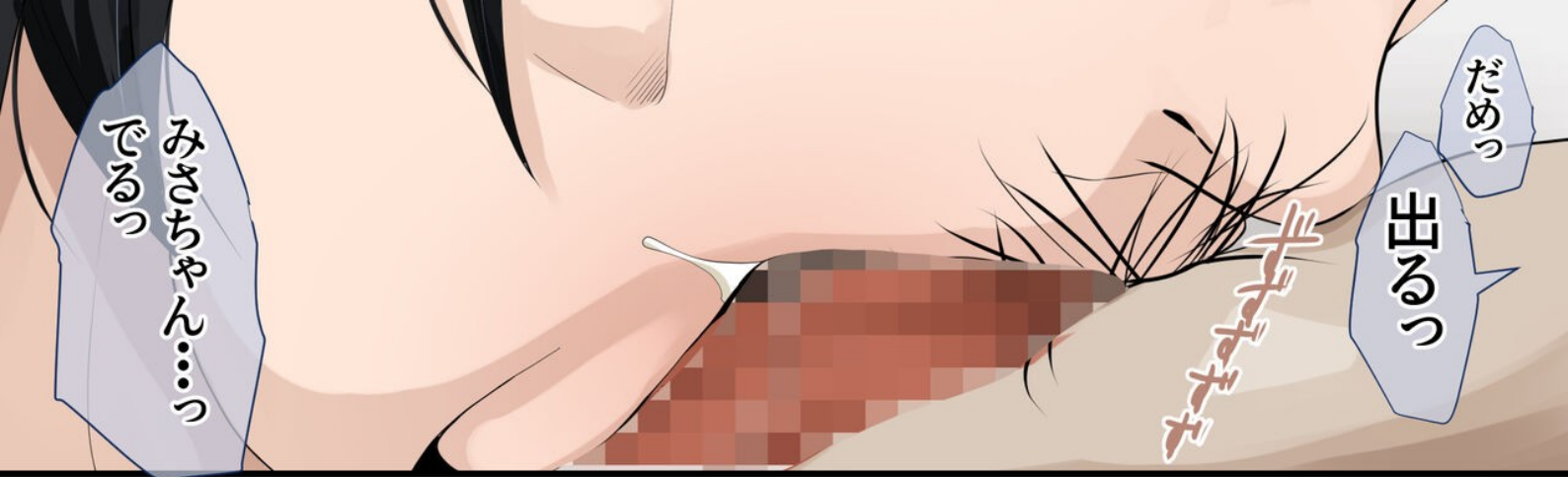
口でして
くれない？



好きなんだ...

母さんの事...
本気なんだ。





ムス...

服まで
汚しちゃって...

ごめん...
ごめん...

怒ってる...?





道具みたいに
されてる気がして...

お母さんだって、こんな無理やり
出されるのは嫌だよ...

そんなつもり
はないよっ



でも...

女の人にはもう
少し優しくした方が
いいんじゃない？

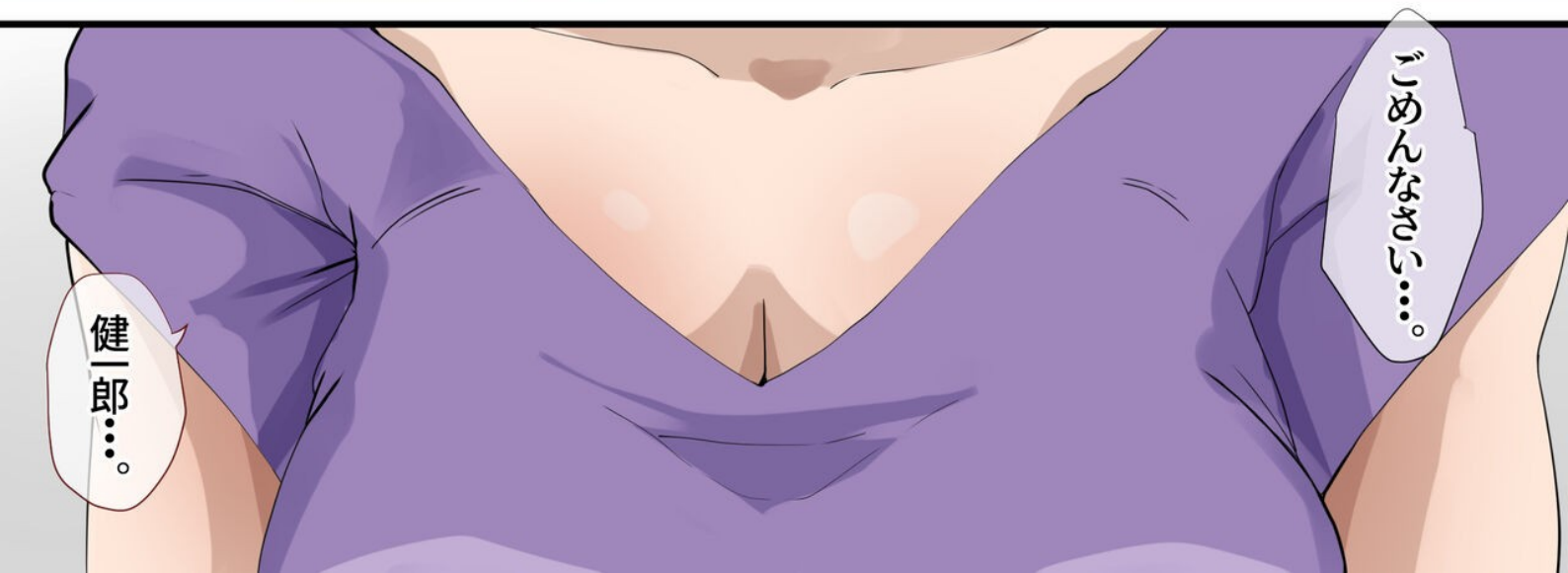


僕は、母さん...

みさちゃんの事
本気で愛してるんだ。

だから...

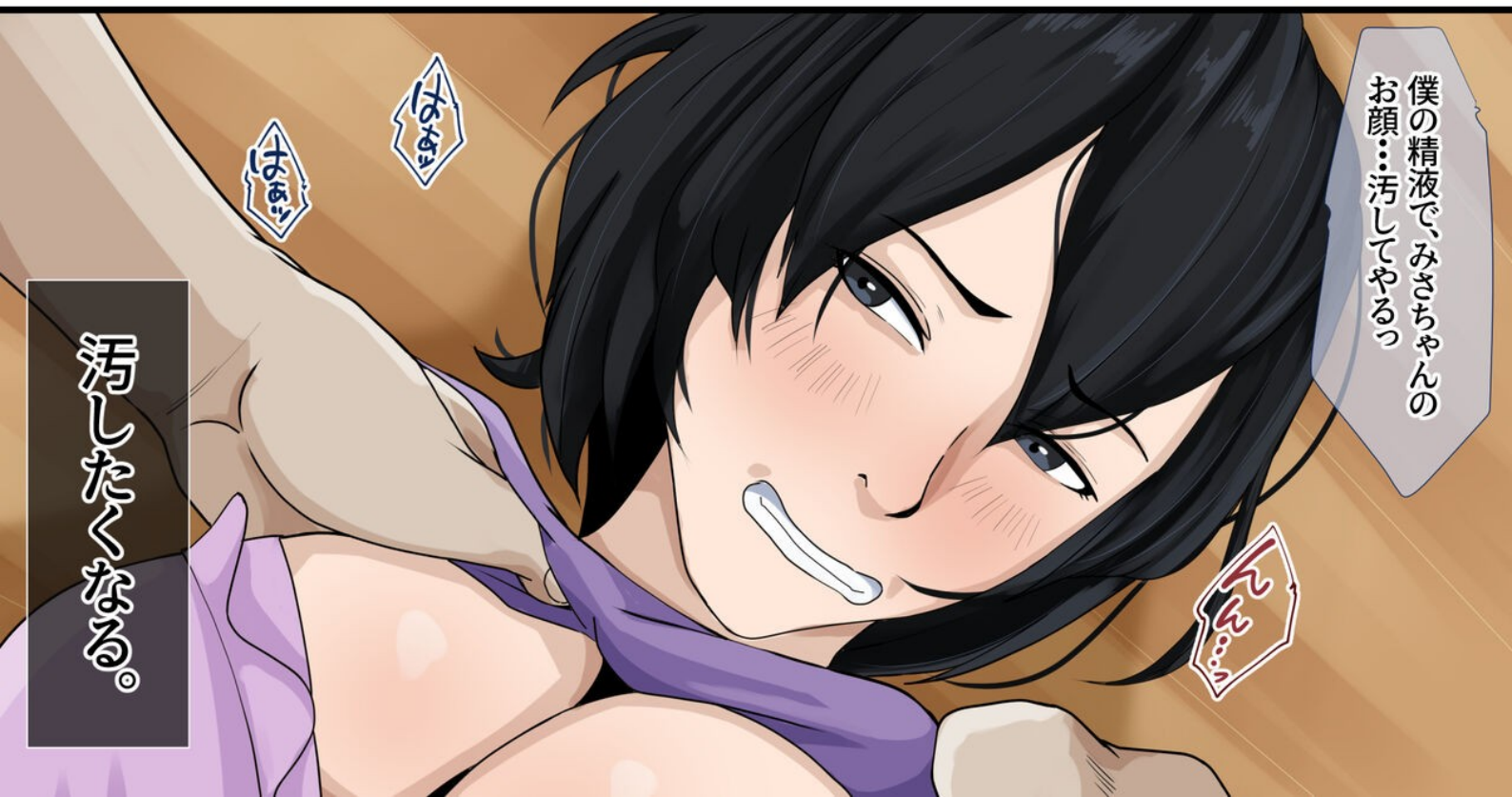
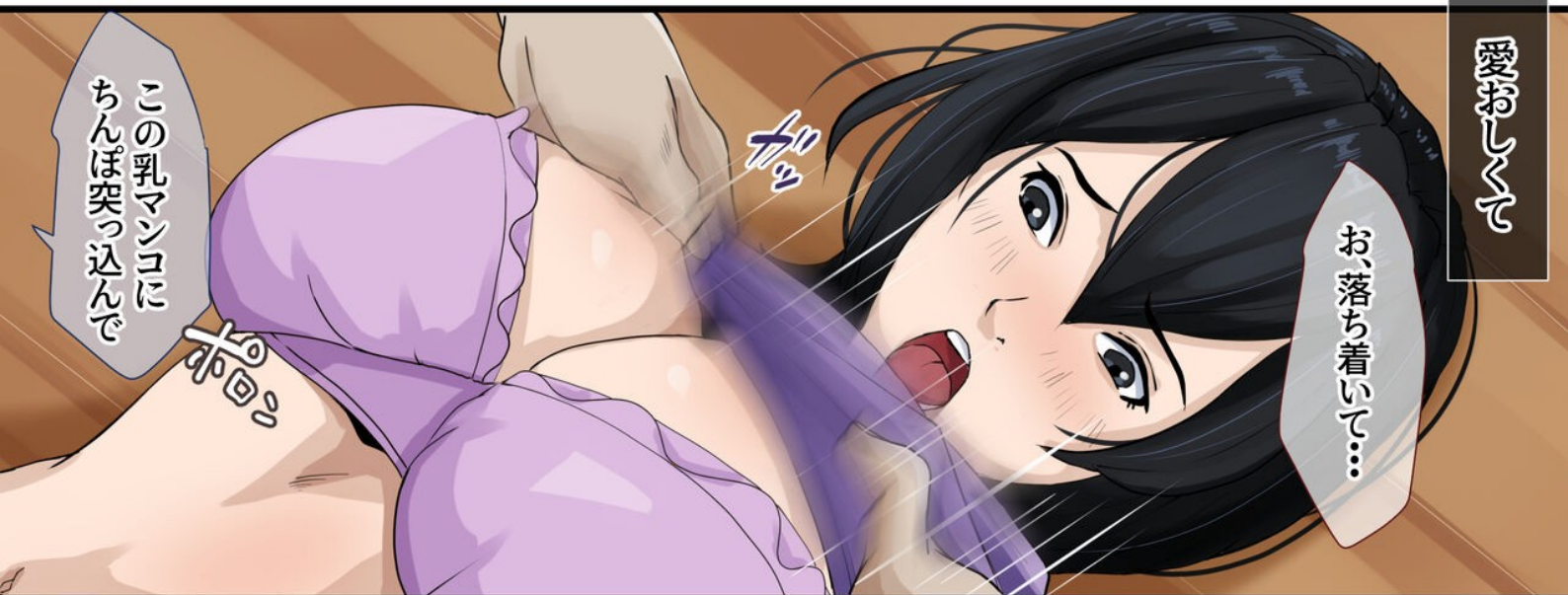
めちゃくちやにしたく
なっちゃって...



いめんなの...

健一郎...



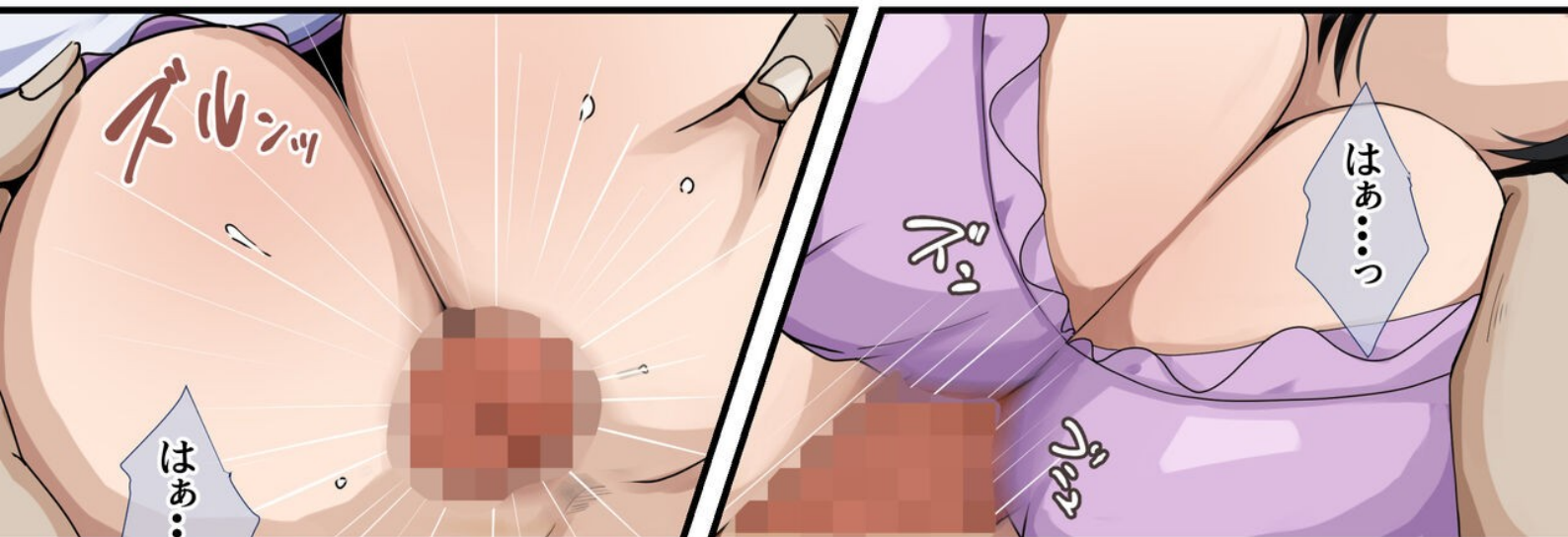




ちよ、ちよっとう

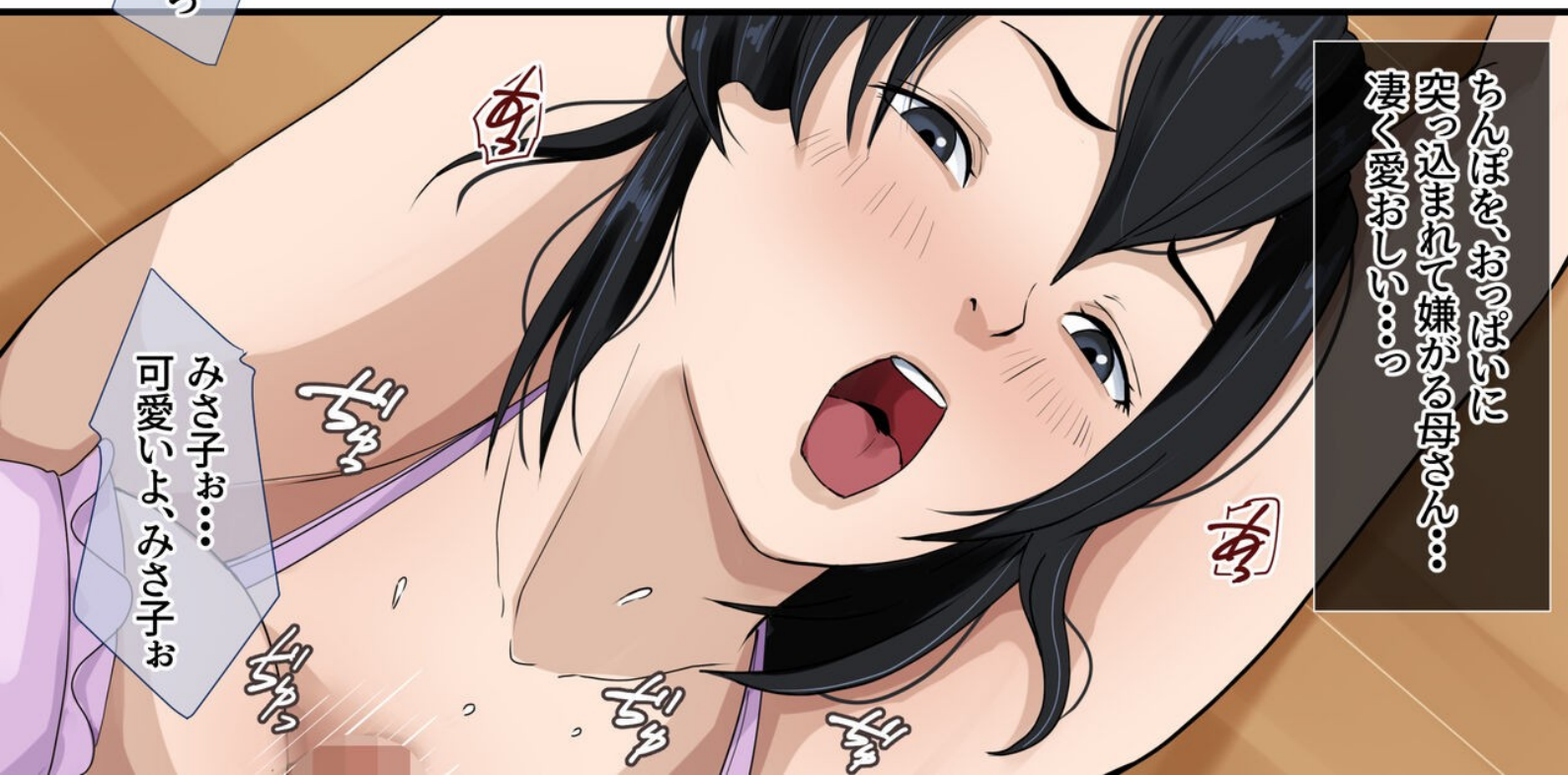
ひどい事しないって
さっき約束したばか……

嫌あッ!!



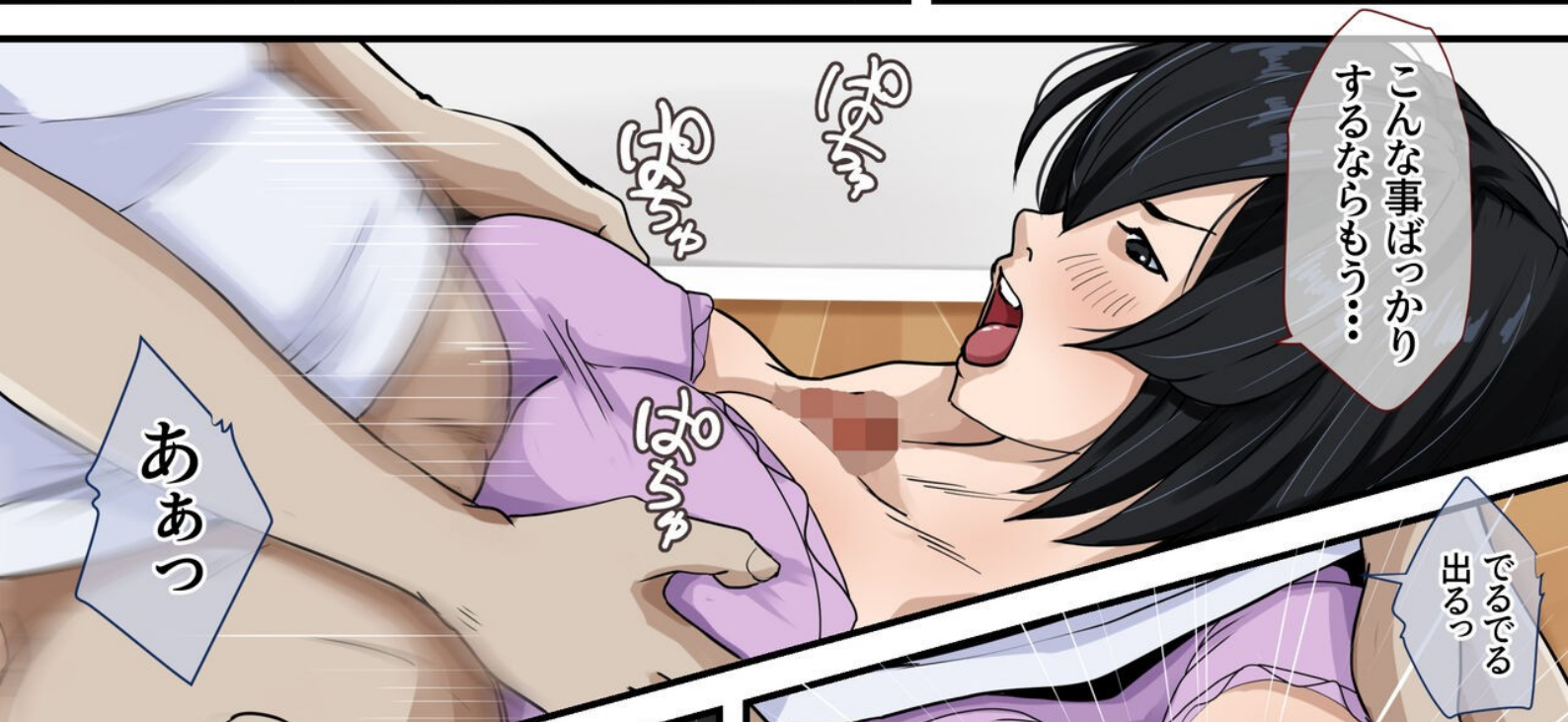
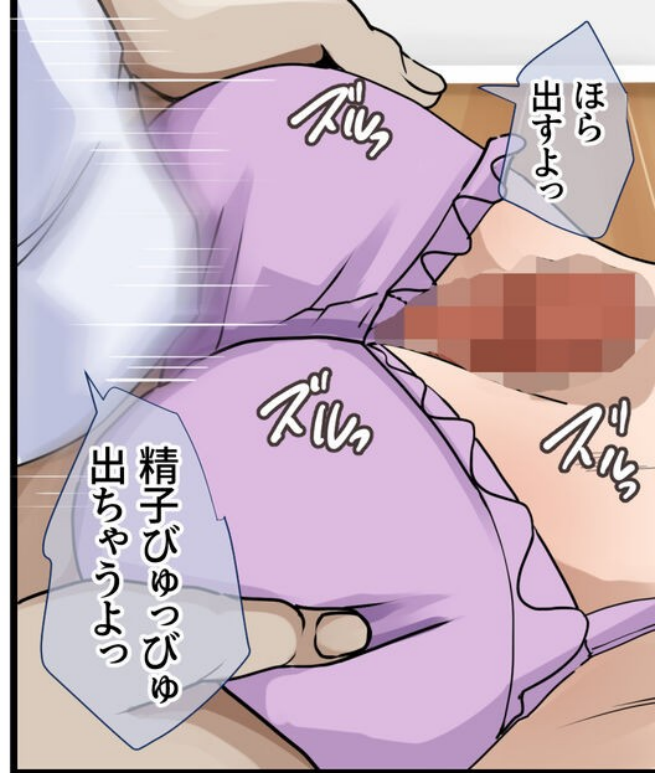
はあ……

はあ……

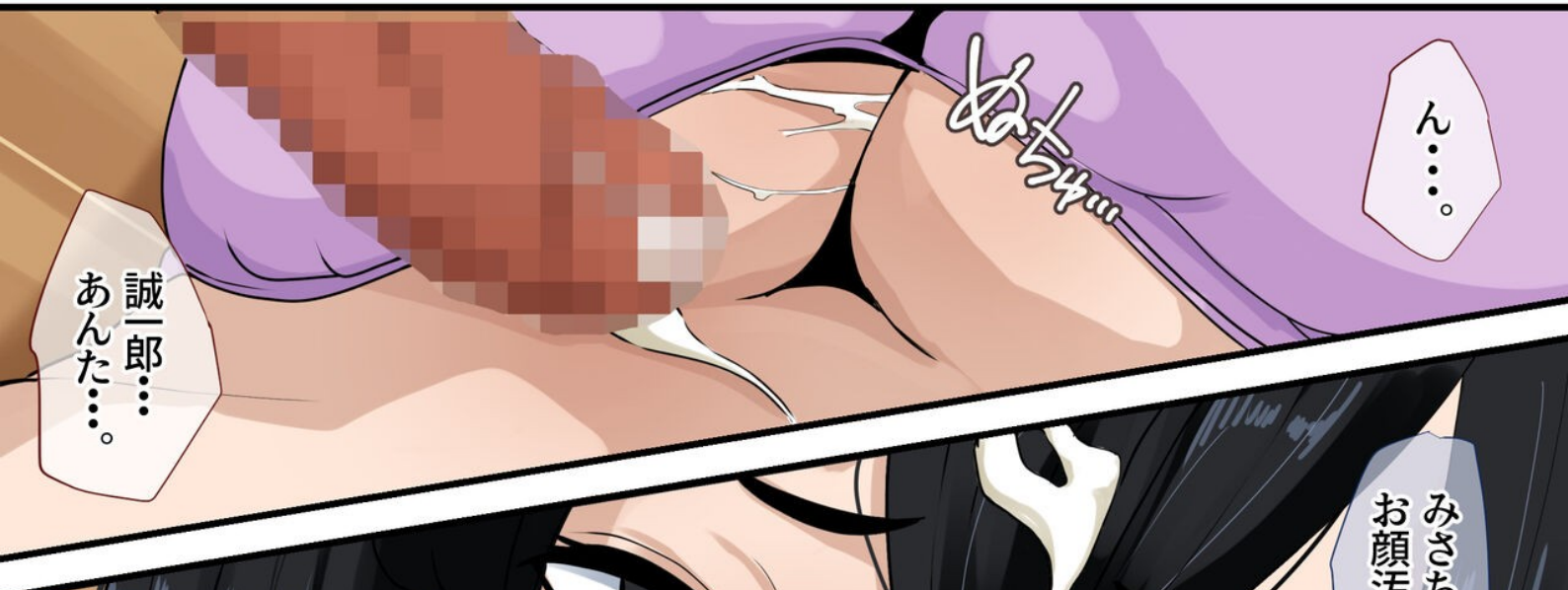


ちんぽを、おっぱいに
突っ込まれて嫌がる母さん……
凄く愛おしい……

みんなお……
可愛いよ、みんなお









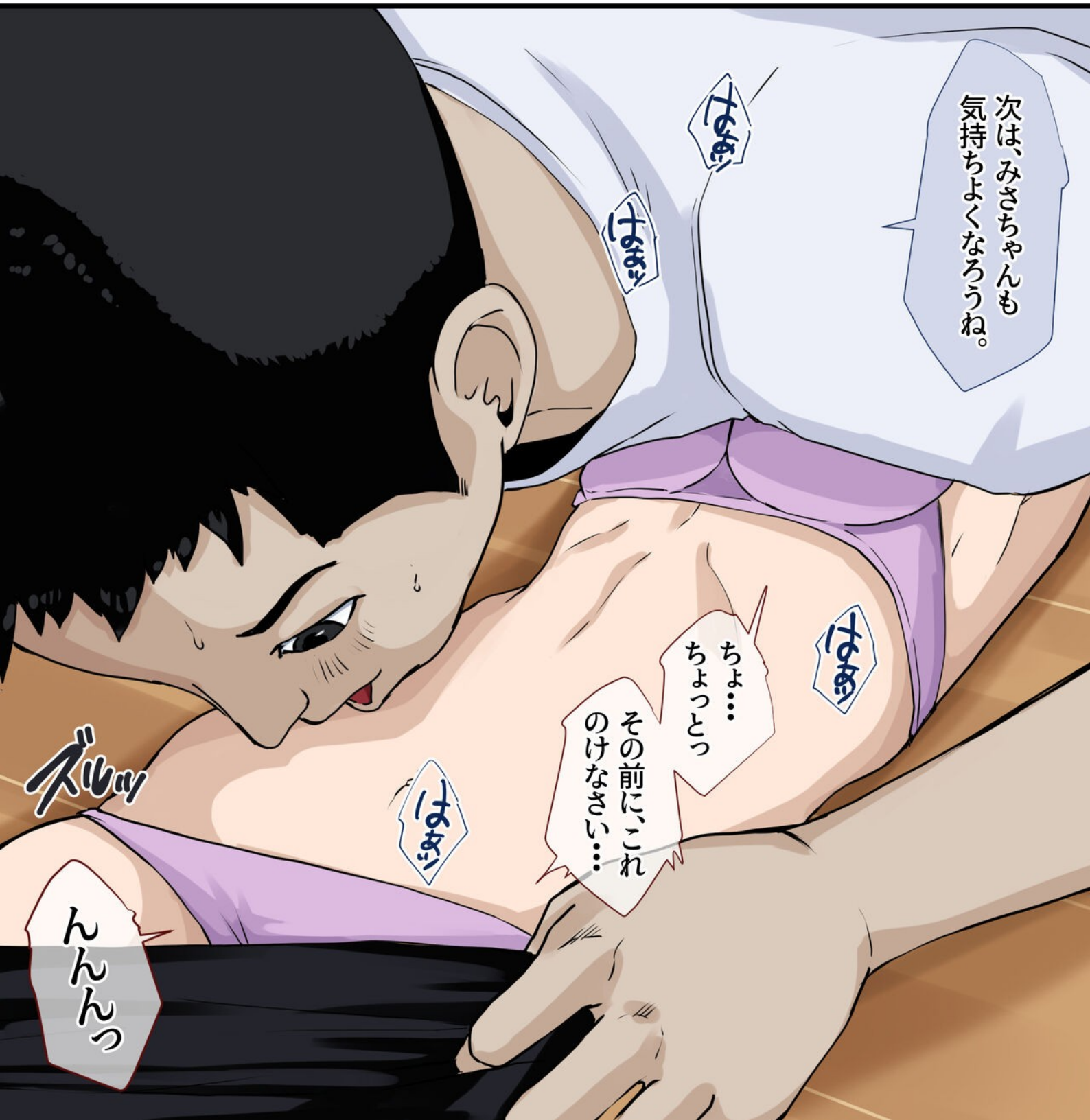
ぐにゅ

わっぷ



びゅ

やだ、ちよっと
何する気…っ!!



次は、みさちゃんも
気持ちよくなろうね。

はぁ

はぁ

はぁ

はぁ

ちよ…
ちよっとう

その前に、これ
のけなさい…

ズルッ

んんん

みさちゃんっ

みさちゃんっ

グッ

ふおおおッ

グッ

グッ

グッ

母さんのマンコっ母さんのマンコっ母さんのマンコっ…っ

ちよっ

やめ…っ

んぶっ

グッ

グッ

グッ

グッ

グッ

んッ

ああっ

あっ

母さんのマンコの匂いが
感触が、ちんぽにくるっ

たまんない…っ

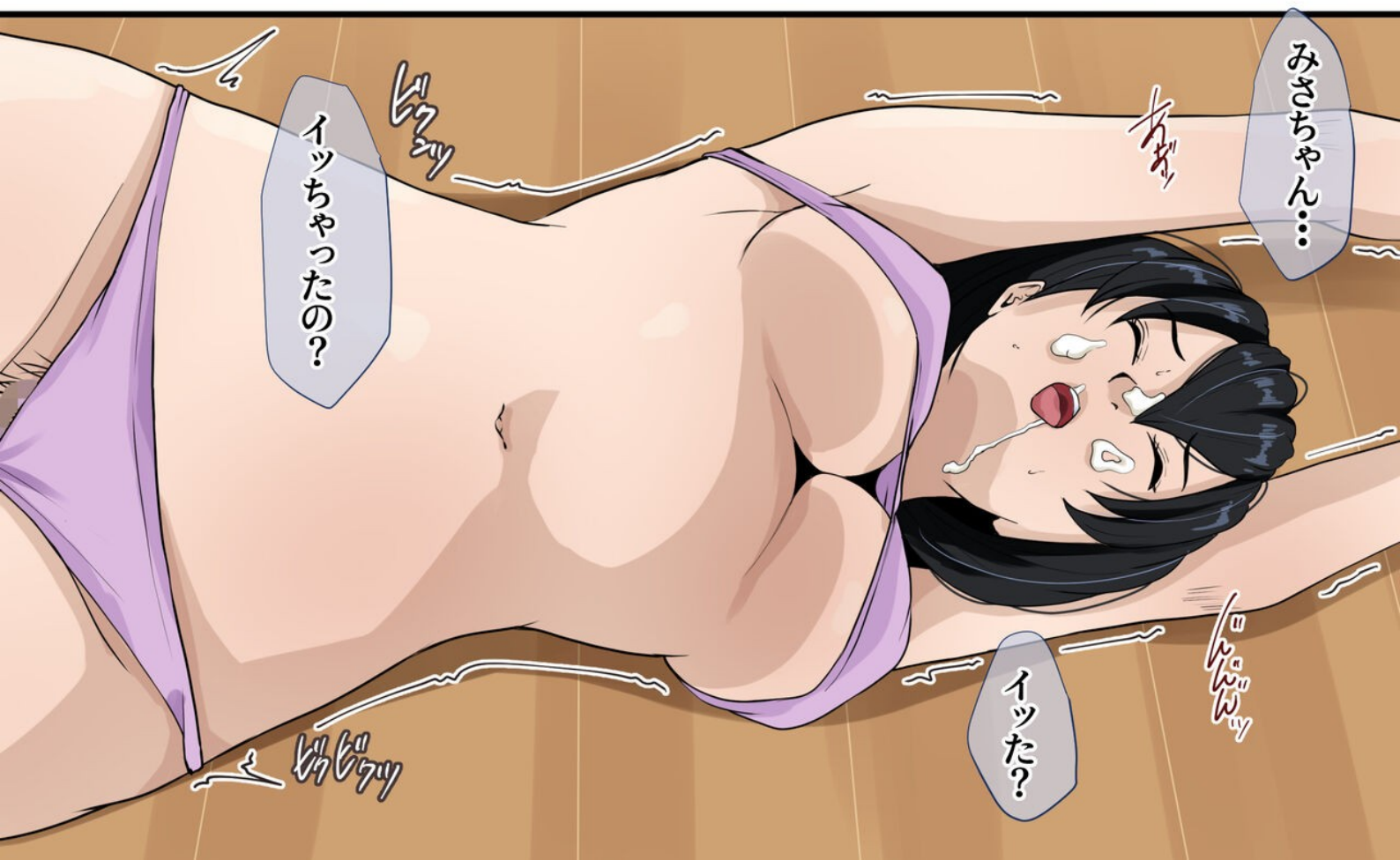
はぁ

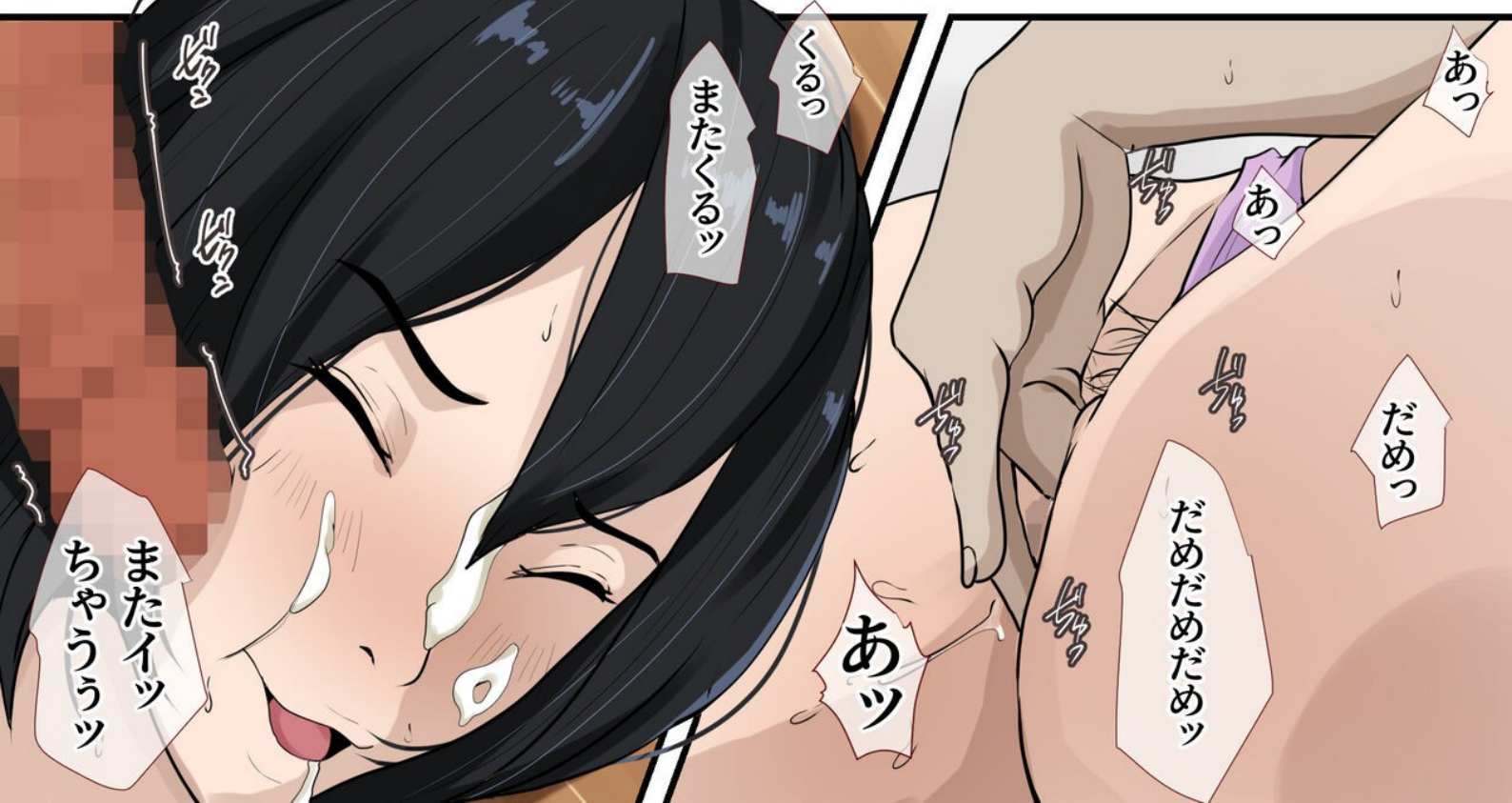
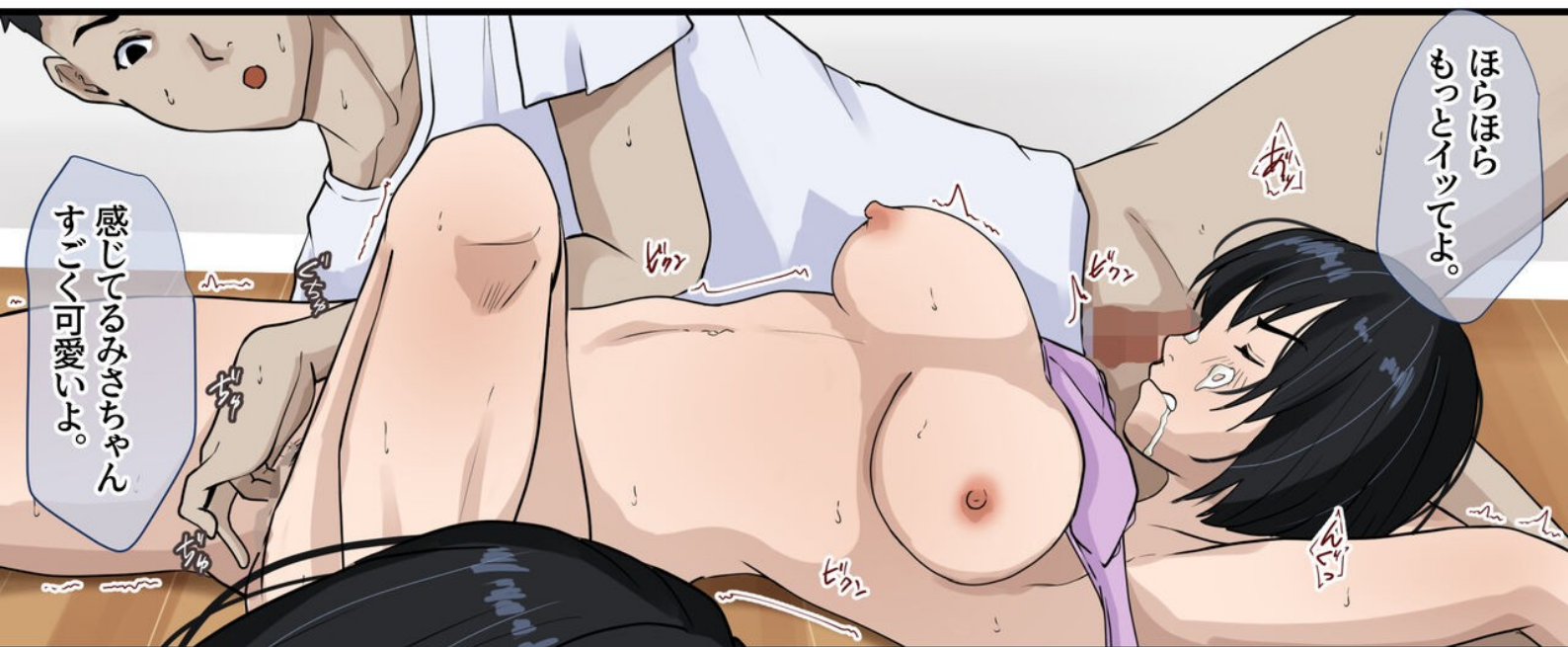
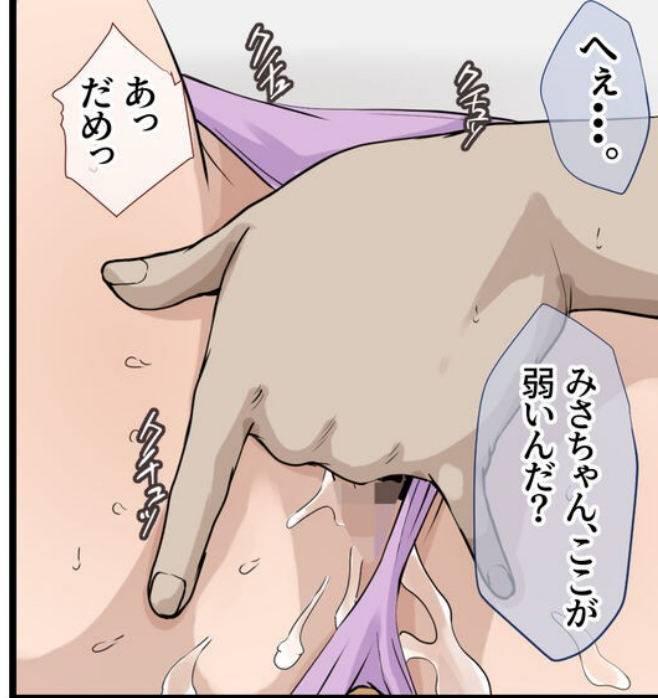
すっ

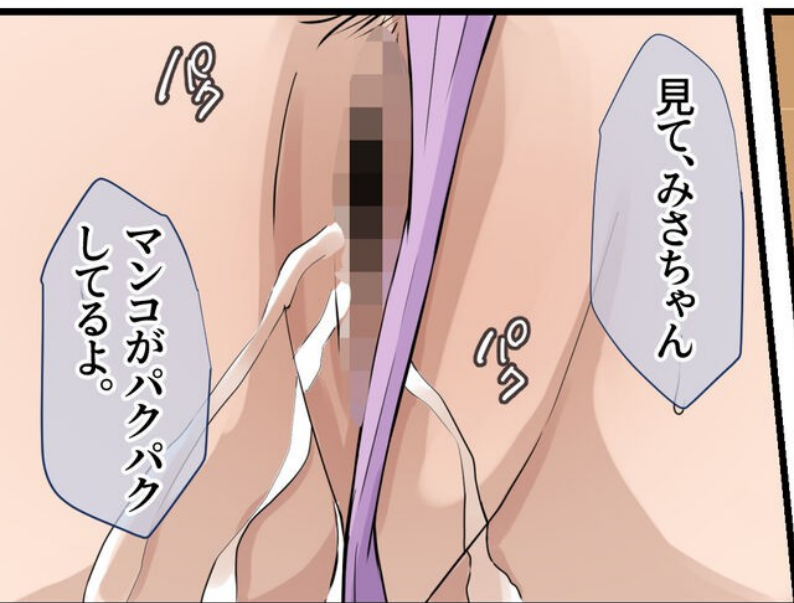
はぁ

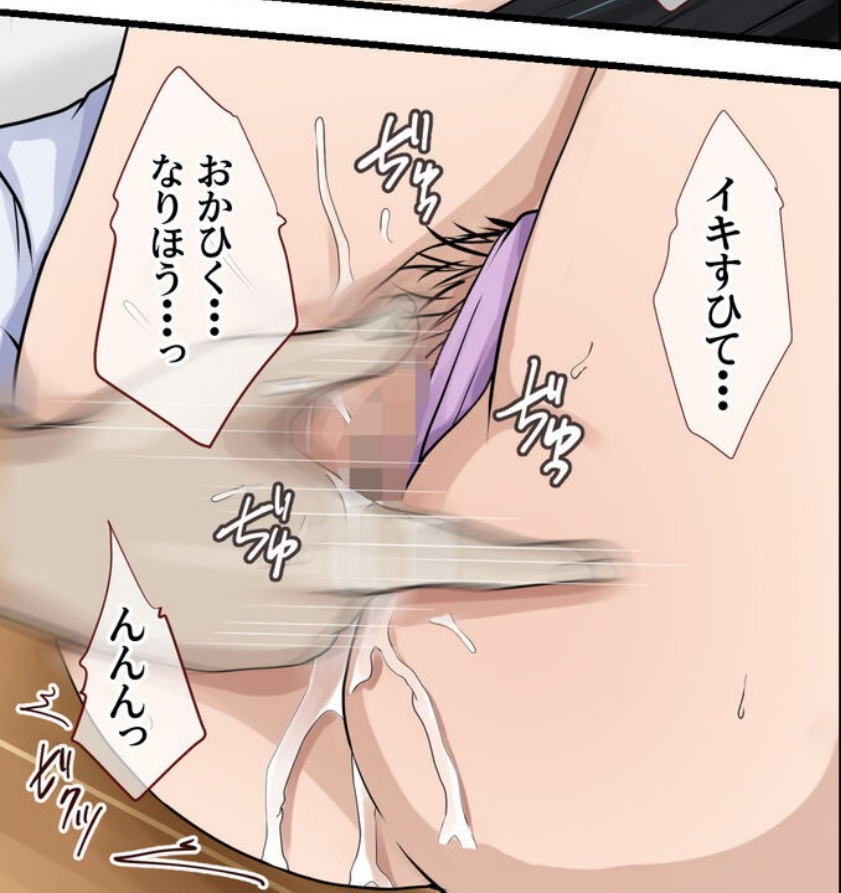
はぁ

はぁ











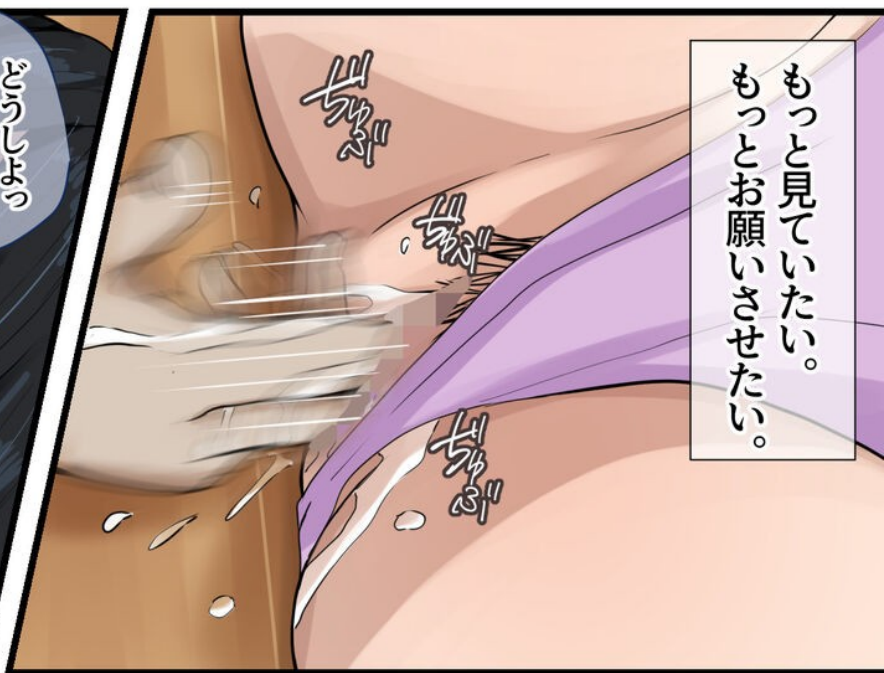
母さんが僕に
お願いしてる…。

すごく可愛い…
勃起が止まらない。

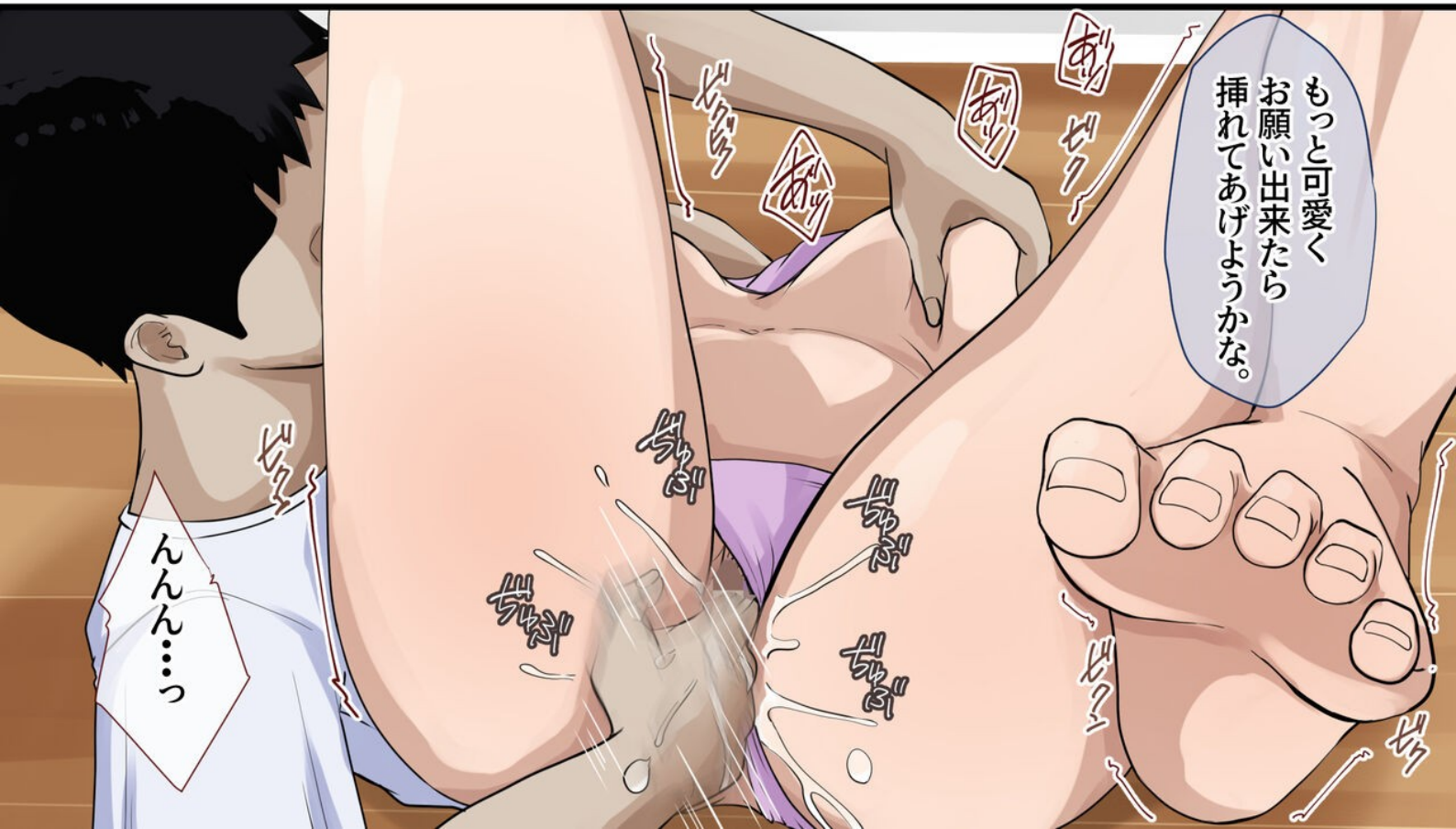


どうしよう
かなあ。

おねはい…っ

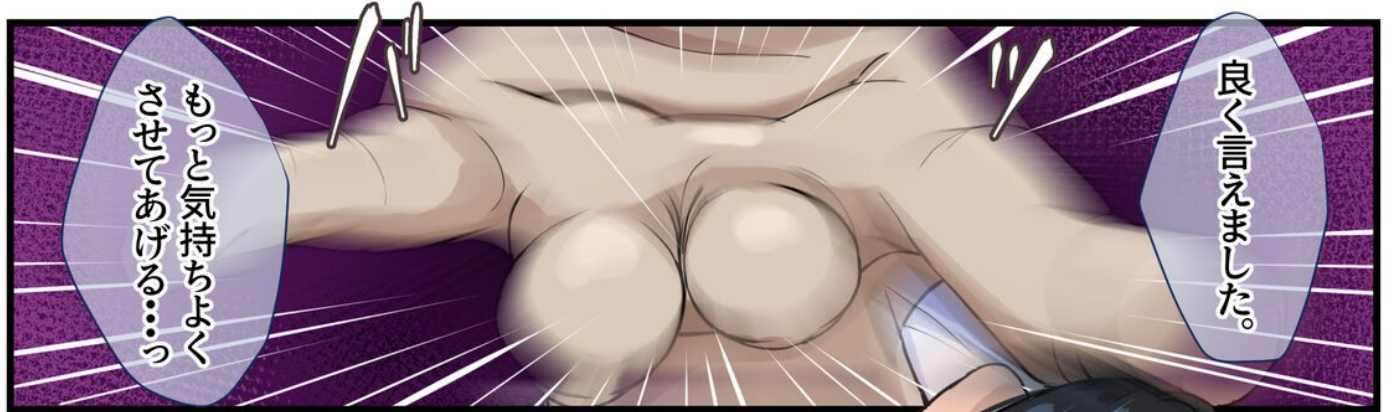
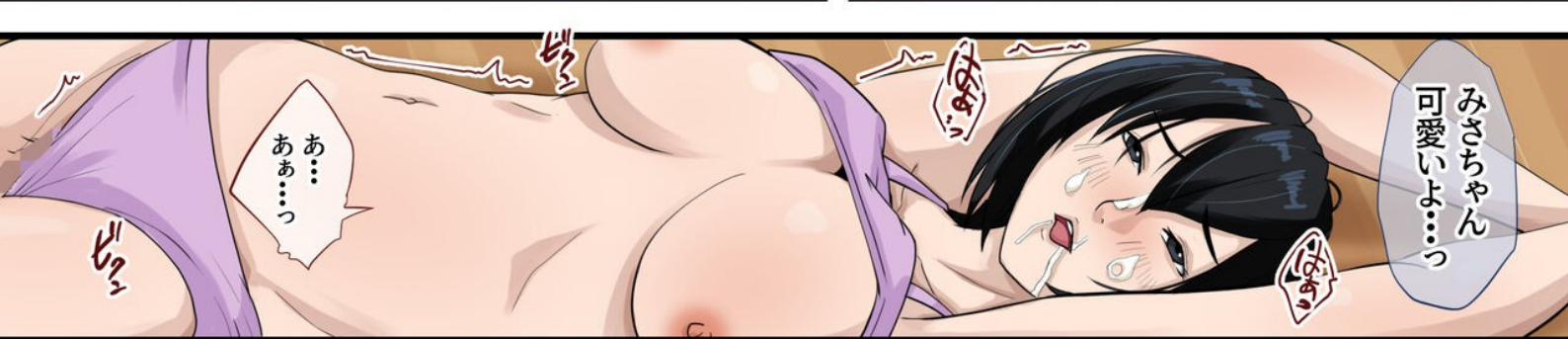


もっと見ていたい。
もっとお願いさせたい。



もっと可愛く
お願い出来たら
挿れてあげようかな。

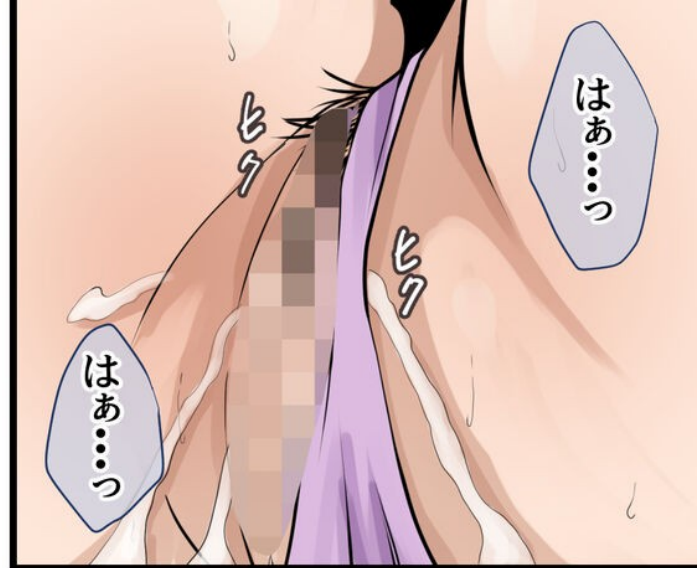
んんん…っ





母さんの願い通り、今から
ちんちんでマンコががん
突いてあげるからね。

大好きだよ。母さん。



はあ……っ

はあ……っ



母さん、イキ過ぎて
マンコひくひくさせながら
放心状態になってる。



ああ……

そんな母さん見てる
と興奮するよ……。



うおっ!
なんだこれっ

う...

ちゅっ

あ...

マンコ濡れ
すぎだろっ

ビクン



どう?
みさちゃん。

はぁ...

はぁ...

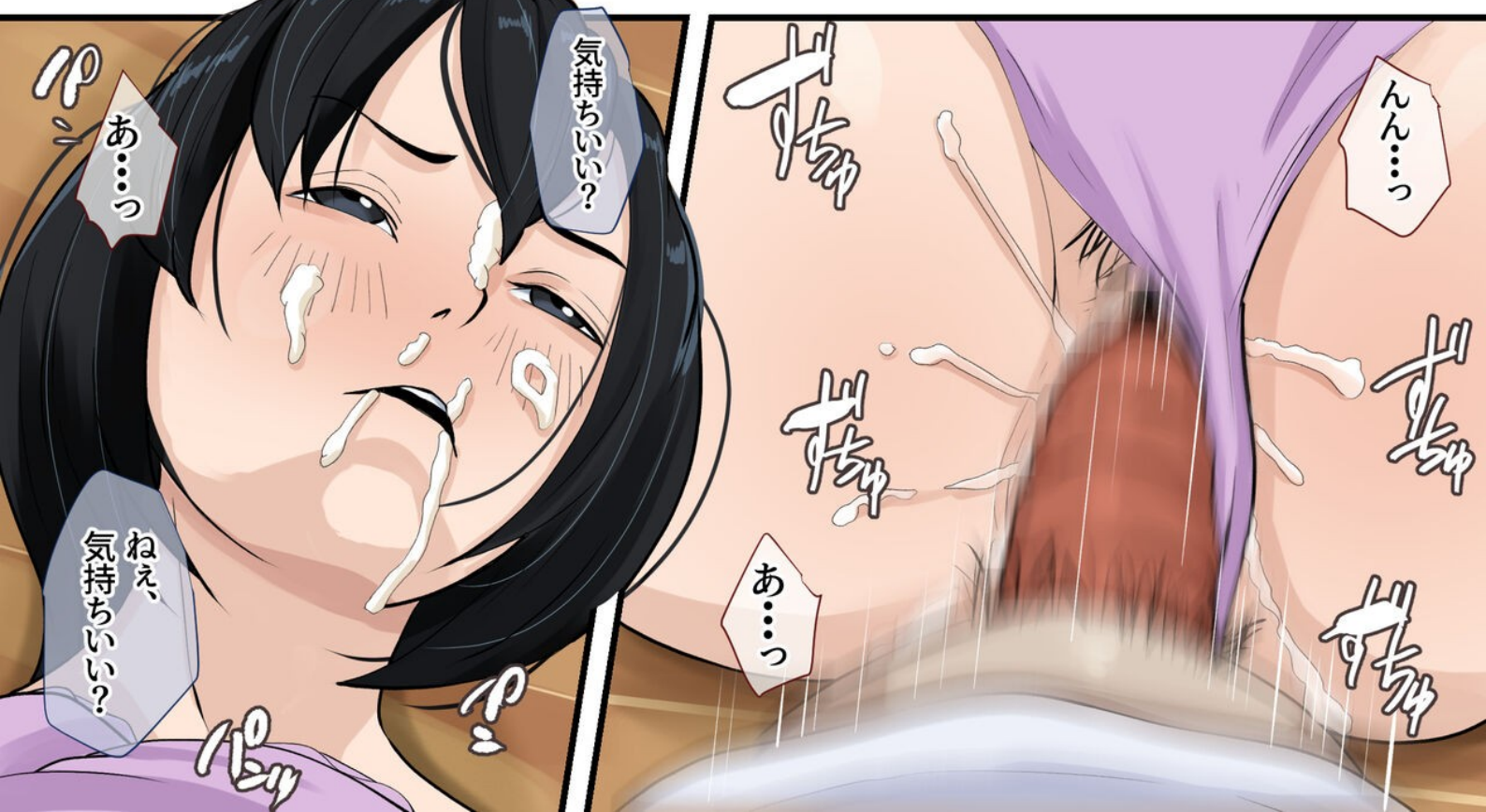
ふっ

念願のおちん
ちんだよ...

ふっ

ふっ

ふっ



んん...

あ...

気持ちいい?!

あ...

ねえ、
気持ちいい?

ふっ



そうか。
気持ちいいね。

わんわん

わんわん

あぁ...っ

僕も気持ち
いいよ...っ



あう...っ

ぽちゃ

ぽちゃ

ぽちゃ

ぽちゃ

あう...っ

ぽちゃ



気持ち
良すぎて...

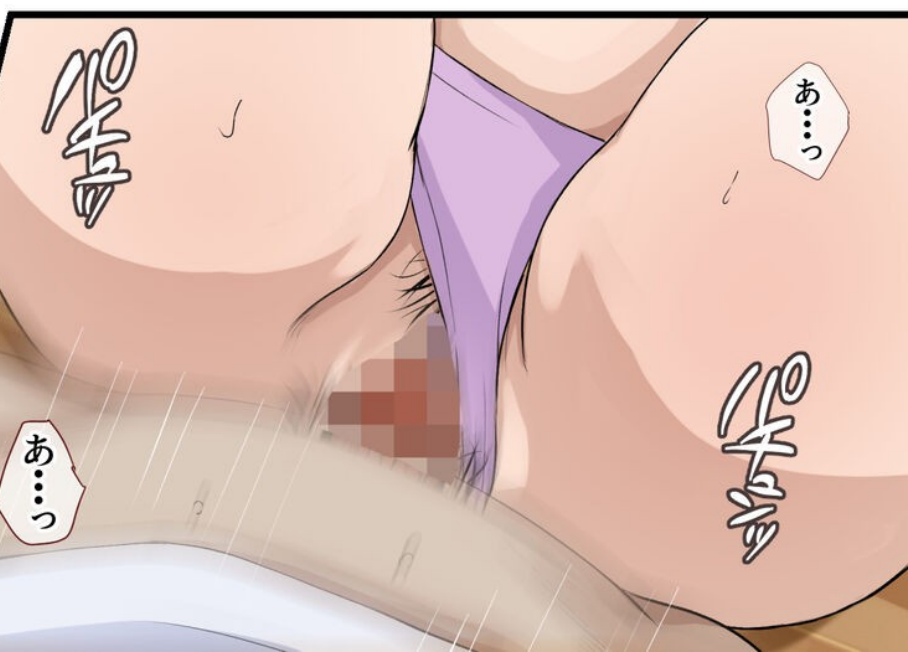
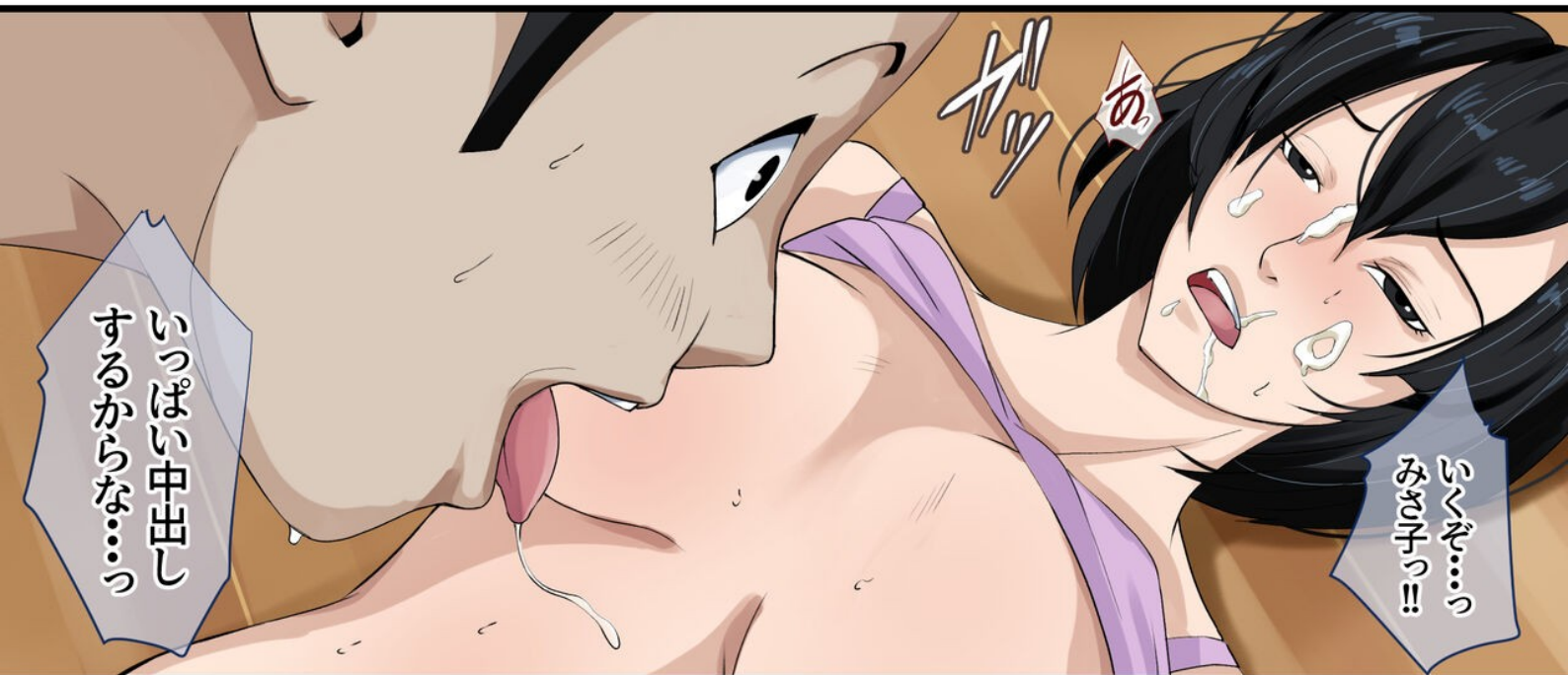
はぁ...っ

ぽちゃ

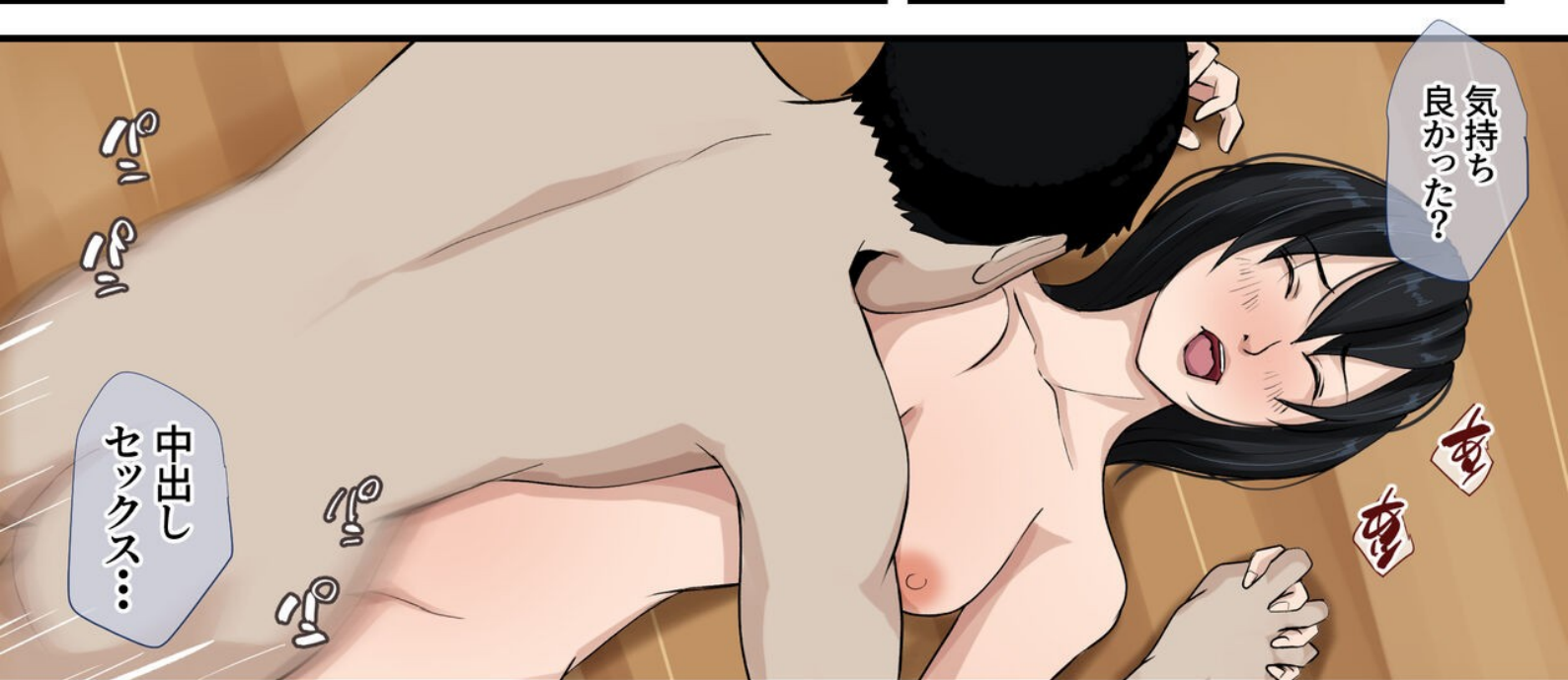
はぁ...っ

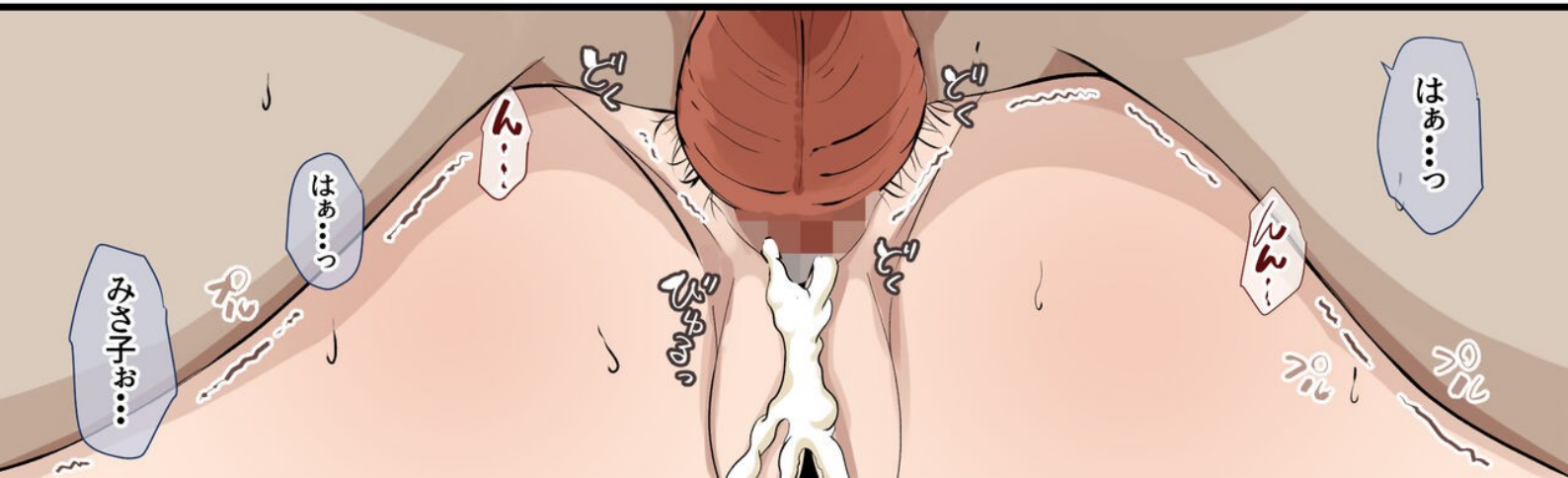
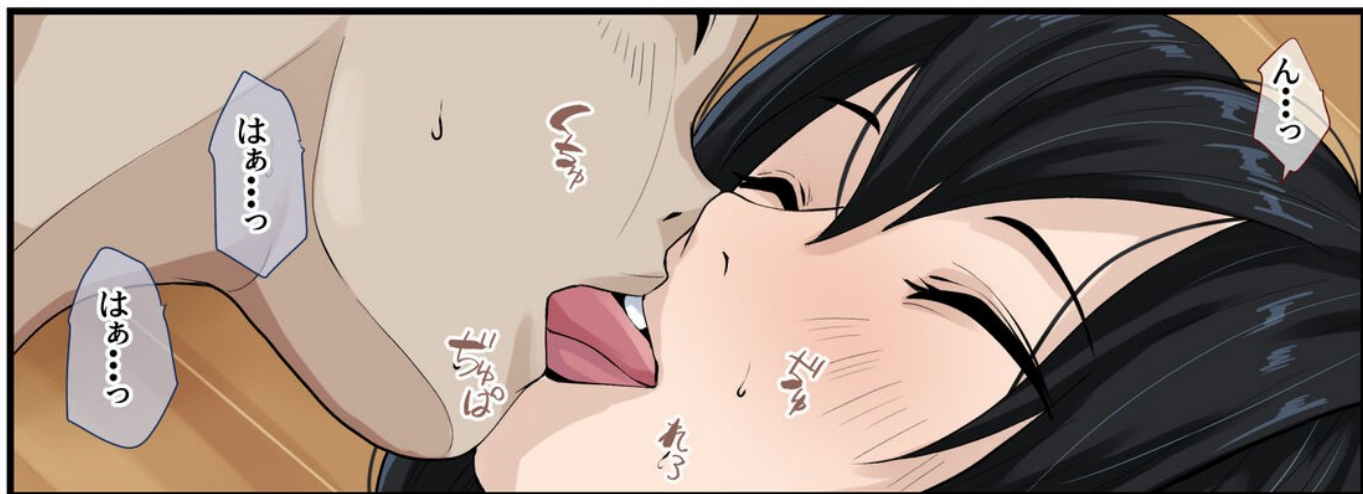
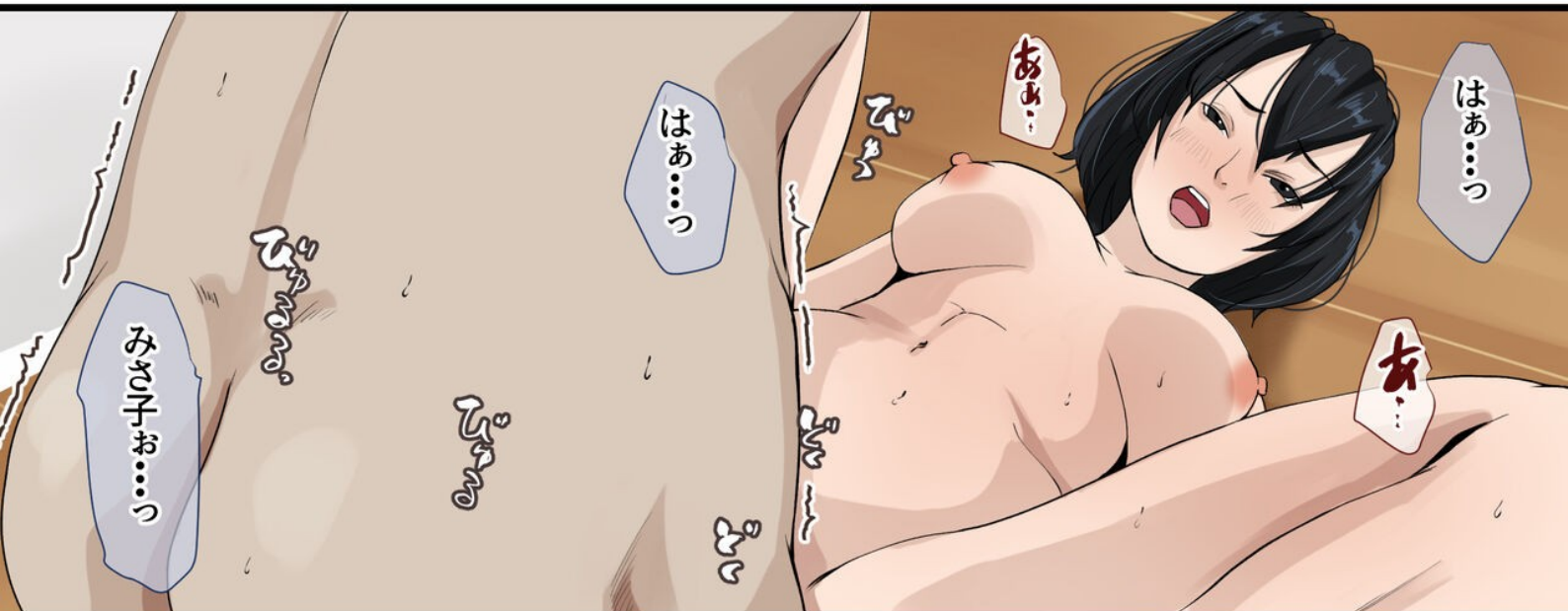
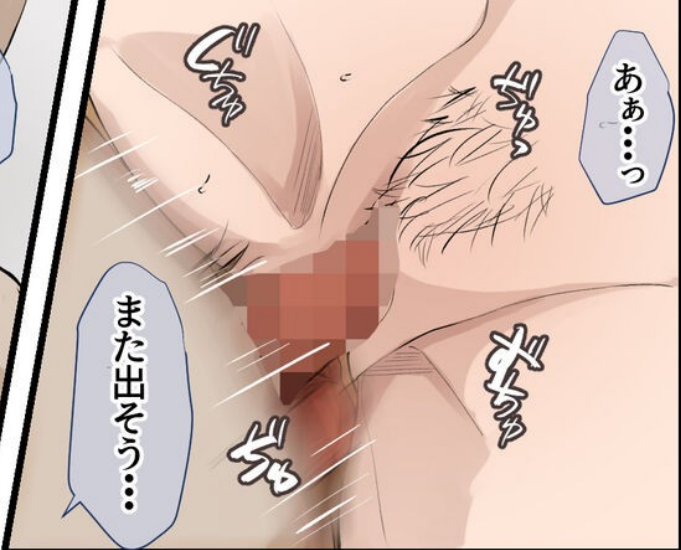
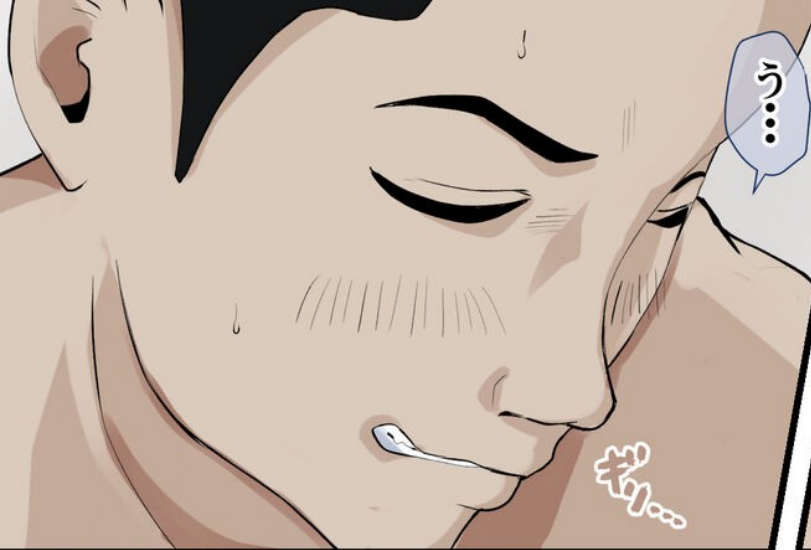
ぽちゃ

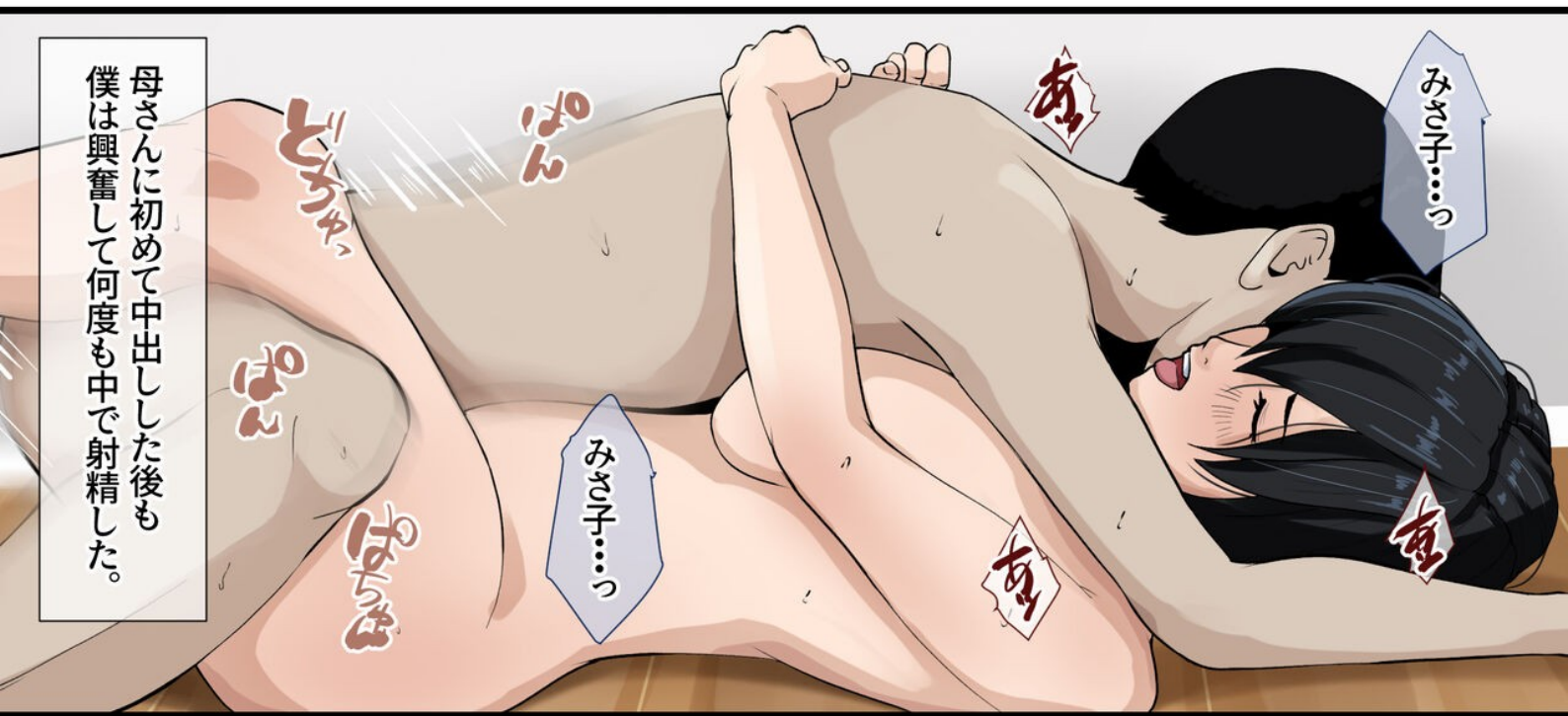
母さんの中に出し
ちやいそうだよ。



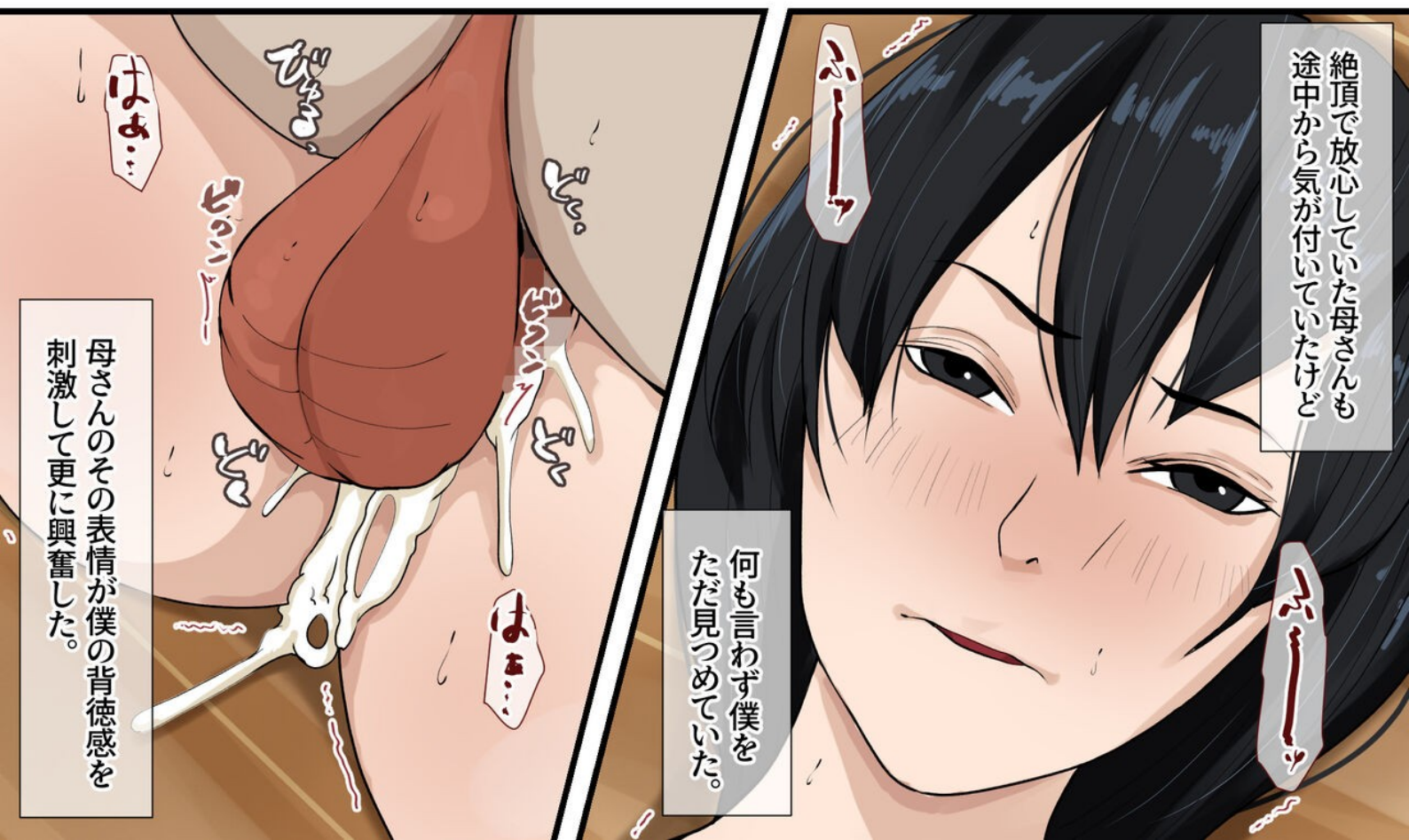








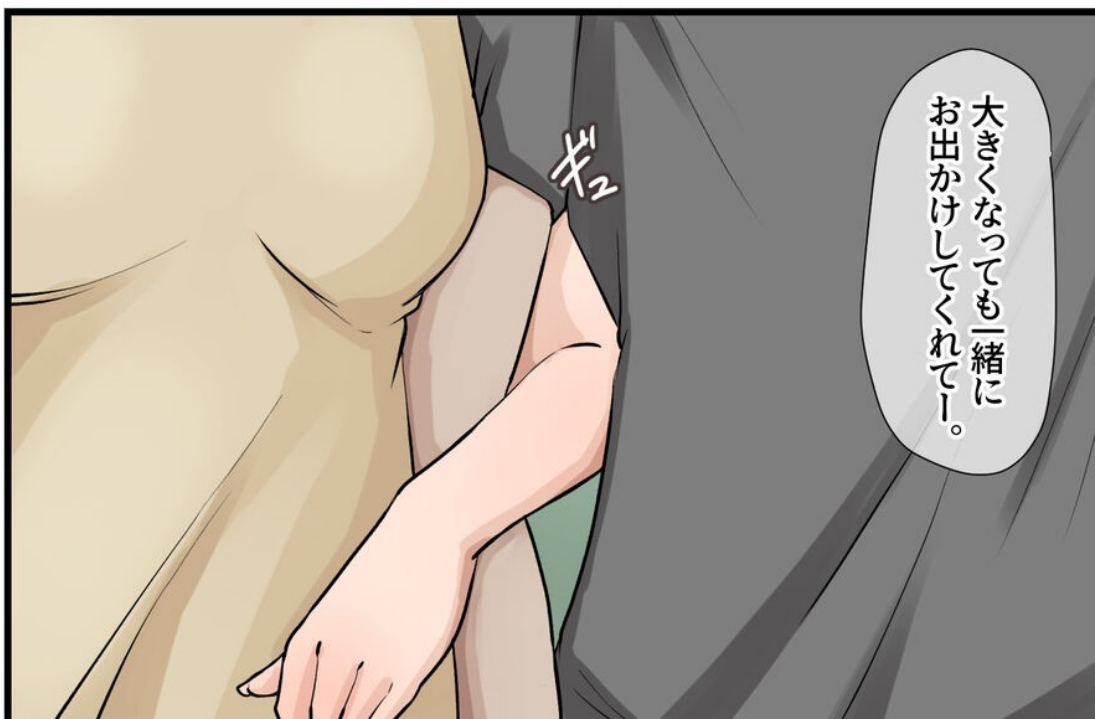
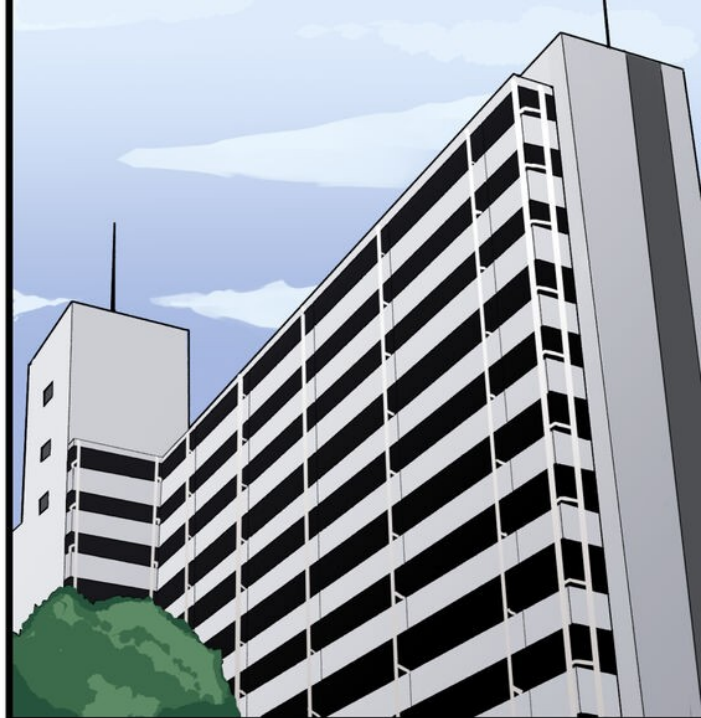
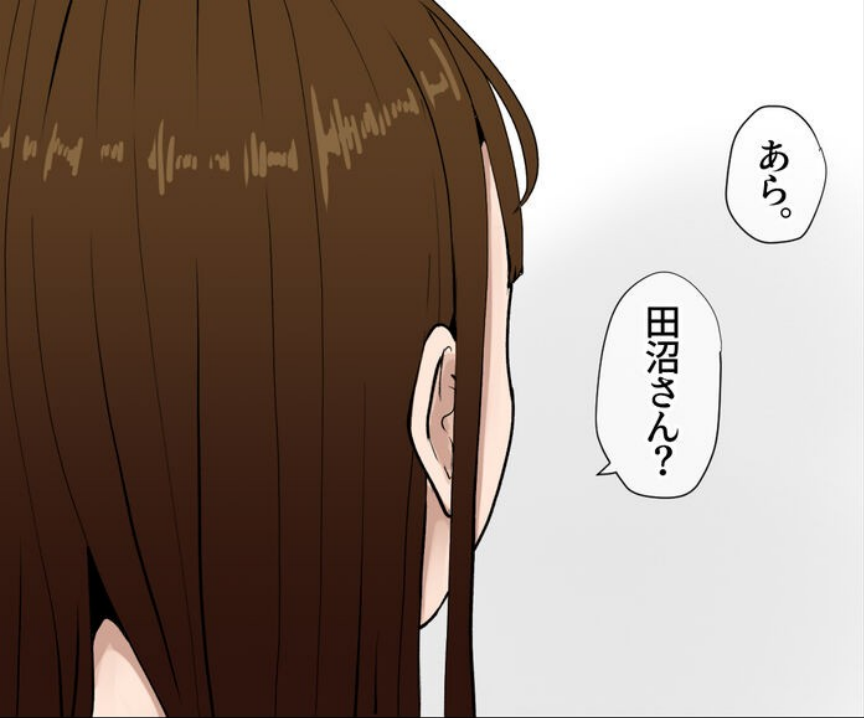
母さんに初めて中出した後も
僕は興奮して何度も中で射精した。



絶頂で放心していた母さんも
途中から気が付いていたけど

何も言わず僕を
ただ見つめていた。

母さんのその表情が僕の背徳感を
刺激して更に興奮した。



そうなの。

わっ

私のカレシ♥

あはは。

いーわねー！





あぁッ
ハッ

いっ
あッ

良かったの？
母さん…

彼氏なんて
言っちゃって。

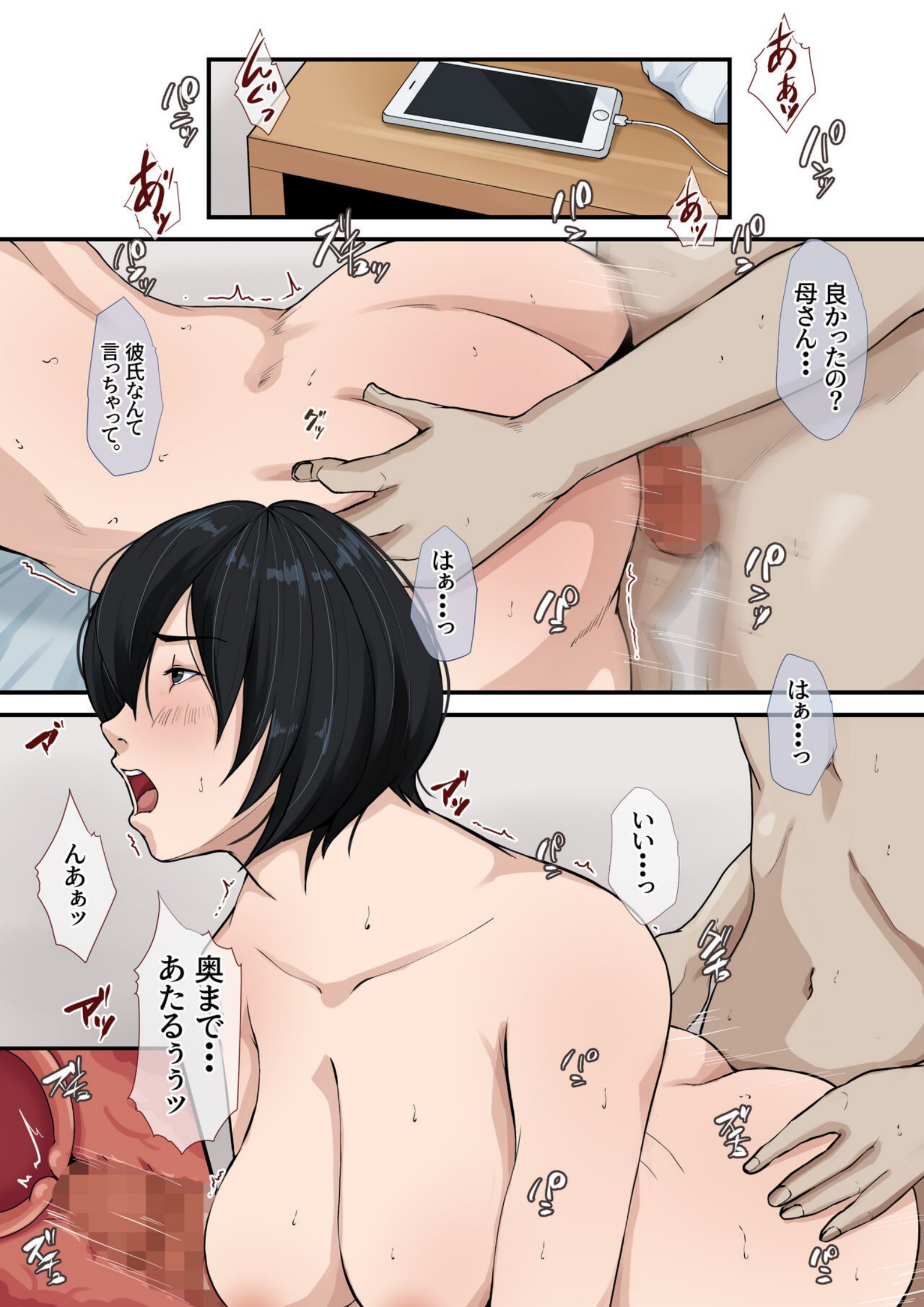
はぁ…っ

はぁ…っ

こっ…っ

んあぁッ

奥まで…
あたるううッ





彼氏ならもう少し
頑張って欲しいな...

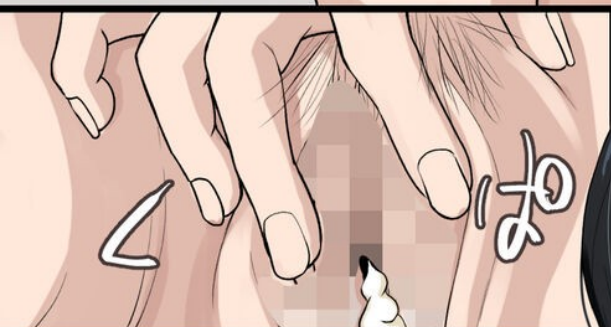


ふはっ

むっ

えー。

もう終わりっ..



おっ

香

香

うん..

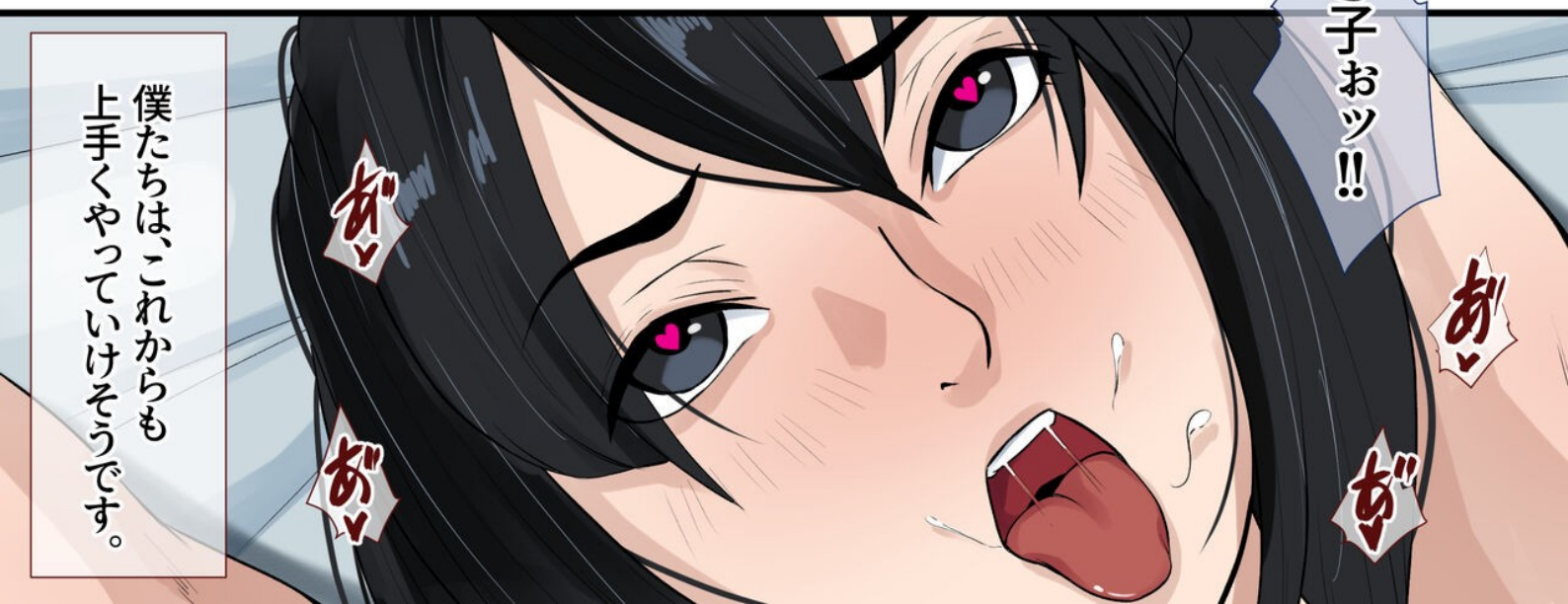
もう一回きゅん..

きゅん

くっ

くっ

とろ





あっ

あっ

あっ

っ

っ

っ

っ

っ

母さんと
付き合ってます。